

m i l b o n

2026年12月期第2四半期決算説明資料

株式会社ミルボン

(TSE code : 4919)

2026年8月10日

2026年度中間決算のポイント

FY26 Q2累計実績

地域別 売上高

【前期比】売上高は+8.3%、営業利益は+72.7%と大幅増益を達成
【計画比】売上高は+2.9%、営業利益は+39.5%となり、会社計画を大きく上回る結果

- 国内の美容室市場の伸び悩みは継続も、当社はヘアケア用剤が底堅く推移。染毛剤は新ヘアカラーブランド「プレトワ」の発売延期影響を既存品売上で補い、国内全体では上期計画を達成
- 海外は円ベースで+24.7%、現地通貨ベースで+16.7%の増収と、総じて好調に推移。米国は前期比+45.0%(円ベース)と高成長を維持し、海外全体をけん引

営業利益

- 売上高の増加に伴う粗利益増加に加え、販管費の一部計上時期の期ずれもあり、営業利益は前期比・計画比ともに上回る結果。営業利益率は7.8%(前年同期)から12.5%へと大きく改善

FY26 通期見通し

上期の好調な業績を踏まえ、中東情勢に起因する原材料・資材等のコスト増を織り込んだ上で、通期業績予想を上方修正。通期では連結売上556億円(+8億円)、営業利益65.5億円(+2.5億円)に引き上げ

株主還元

中間配当は期初計画通り40円とし、期末予想も維持。
更に、資本効率の向上および株主還元の強化を目的として、18億円を上限とする自己株式取得を決定

Contents

1. 連結業績	P3
2. 地域別業績・業績予想の修正	P7
3. Milbon Group 2026年度の進捗	P20
4. Appendix	P40

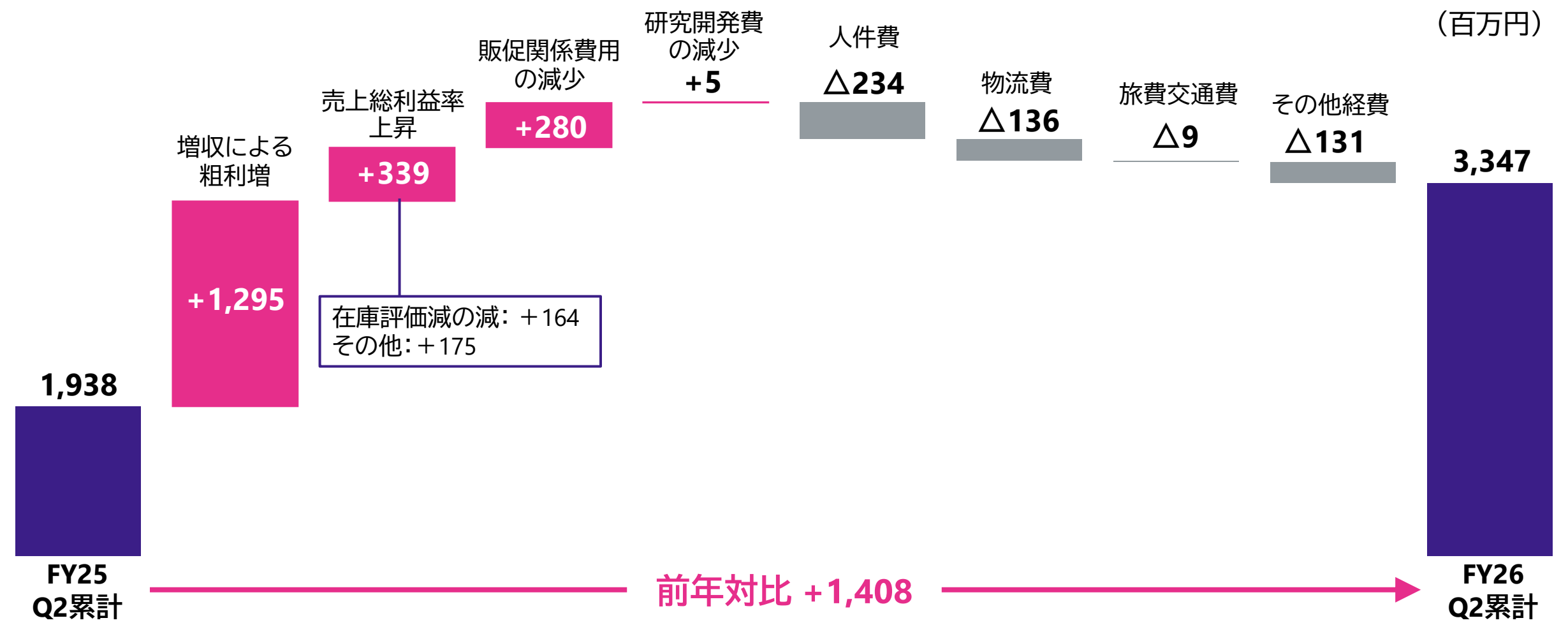
連結損益計算書

売上高は海外事業が好調に推移したことにより、前期比・計画比ともに上振れ。営業利益は、増収効果・粗利益率の改善に加え、販管費の期ずれもあり、大幅増益となった

(単位:百万円)	FY2025 Q2累計	FY2026			増減額	増減率 (%)	FY2026 Q2累計 計画	計画比 (%)
		Q1	Q2	累計				
売上高	24,807	12,415	14,463	26,878	2,070	+8.3%	26,125	102.9%
売上総利益	15,502	7,872	9,263	17,135	1,633	+10.5%	16,642	103.0%
売上総利益率	62.5%	63.4%	64.0%	63.8%	—	—	63.7%	—
販管費	13,563	6,622	7,166	13,788	224	+1.7%	14,242	96.8%
営業利益	1,938	1,250	2,097	3,347	1,408	+72.7%	2,400	139.5%
営業利益率	7.8%	10.1%	14.5%	12.5%	—	—	9.2%	—
営業外収支	△85	86	65	152	237	—	△69	—
経常利益	1,853	1,337	2,162	3,499	1,646	+88.8%	2,331	150.1%
特別利益(損失)	△755	△0	△127	△127	628	—	△10	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	419	1,015	1,400	2,416	1,997	+476.5%	1,657	145.8%

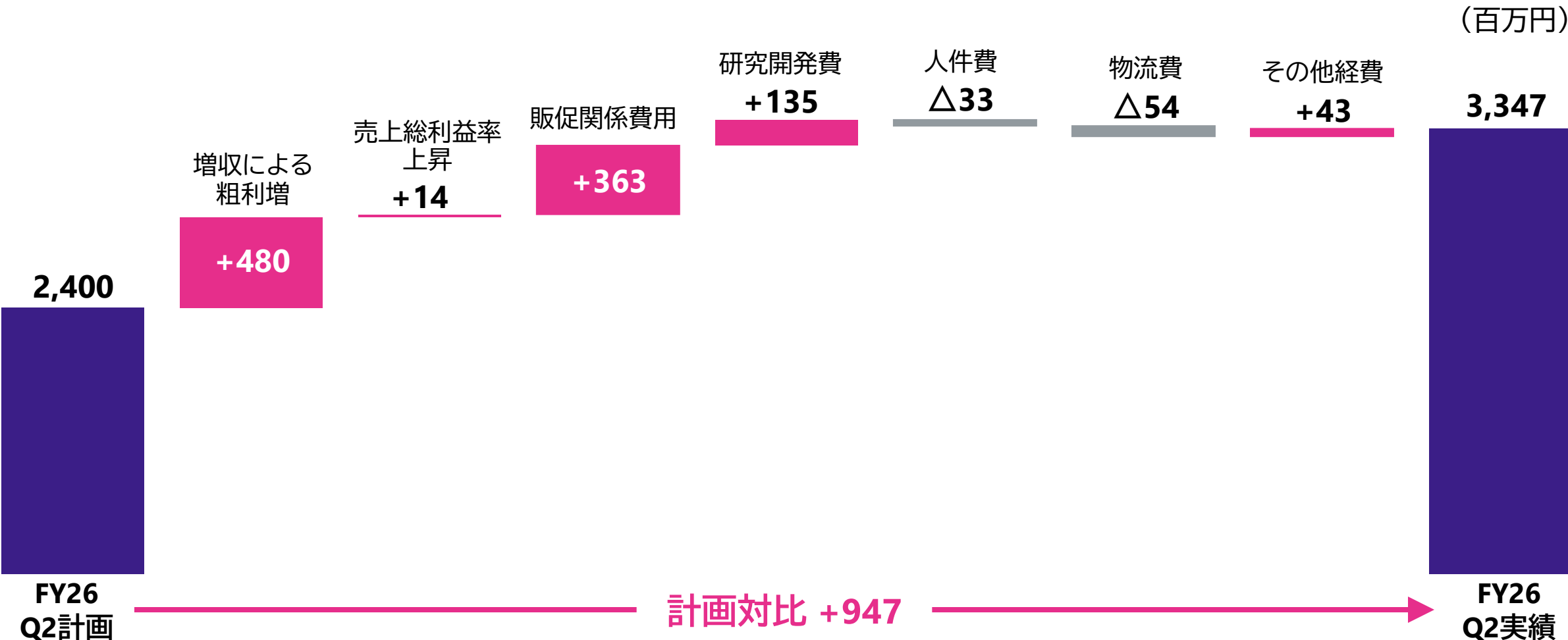
連結営業利益 前年同期比増減要因

増収効果および売上総利益率の改善により、粗利益が増加。物流費・人件費の増加を吸収し、大幅増益となった



連結営業利益 対計画増減要因

販促費・研究開発費は期ずれ要因を含むものの、増収による粗利増が寄与し、計画比で大幅増益となった



Contents

- 1. 連結業績————— P3
- 2. 地域別業績・業績予想の修正————— P7
- 3. Milbon Group 2026年度の進捗————— P20
- 4. Appendix————— P40

地域別業績 国内・海外の売上高・営業利益

(単位:百万円)		FY2025 Q2累計	FY2026 Q2累計	増減額	増減率 (%)	実質増減率※1 (%)	FY2026 計画 Q2累計	FY2025Q2 為替レート	FY2026Q2 為替レート
日本	売上高	18,483	18,993	510	2.8%	2.8%	18,872		
	営業利益	1,640	2,161	520	31.6%	—	1,900	—	—
	利益率(%)	8.9%	11.4%	—	—	—	10.1%		
海外	売上高	6,323	7,884	1,560	24.7%	16.7%	7,253		
	営業利益	297	1,185	887	398.1%	—	500	—	—
	利益率(%)	4.7%	15.0%	—	—	—	6.9%		
韓国	売上高	2,577	2,975	398	15.5%	12.1%	2,885	1KRW=	1KRW=
	営業利益※2	894	1,108	213	23.8%	—	972	0.1038円	0.1069円
	利益率(%)	34.7%	37.2%	—	—	—	33.7%		
中国	売上高	1,193	1,515	321	27.0%	12.8%	1,324	1RMB=	1RMB=
	営業利益	117	209	92	78.7%	—	81	20.45円	23.03円
	利益率(%)	9.8%	13.8%	—	—	—	6.2%		
米国	売上高	1,150	1,668	517	45.0%	34.8%	1,316	1USD=	1USD=
	営業利益	△141	274	415	—	—	△106	147.44円	158.59円
	利益率(%)	△12.3%	16.4%	—	—	—	△8.1%		
EU	売上高	240	383	142	59.3%	39.8%	324	1EUR=	1EUR=
	営業利益	△67	△33	33	—	—	△50	162.24円	184.83円
	利益率(%)	△27.9%	△8.8%	—	—	—	△15.6%		
その他※3	売上高	1,161	1,341	179	15.5%	8.5%	1,402		
	営業利益	107	249	141	132.4%	—	224	—	—
	利益率(%)	9.2%	18.6%	—	—	—	16.1%		
(配賦コスト)		△612	△621	△9	—	—	△621	—	—

※1 現地通貨ベースでの実質増減率 ※2 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載(全社配賦コストは最下段に記載)

※3 台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、トルコ、UAE

地域別業績 日本国内

市場環境に大きな変化はないが、ヘアケア用剤は前期比+4.4%と底堅く推移。染毛剤は「プレトワ」発売延期の影響で未達も、ヘアケア用剤が計画超過となり、全体で計画達成

カテゴリ別売上高 昨対成長率※

ヘアケア用剤は「スワエ」などの新製品が好調に推移し、オージュアも堅調。染毛剤はグレイカラーが底堅く推移した一方、「プレトワ」発売延期の影響もありファッションカラーは前年割れが継続したものの、改善傾向がみられる

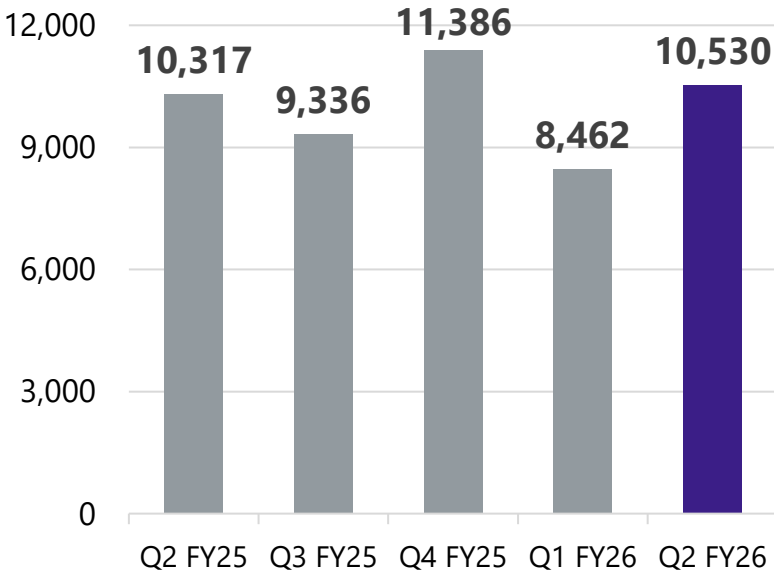
FY2026		
売上高 成長率	2Q	累計
ヘアケア用剤	+3.5%	+4.4%
染毛剤	△0.0%	△0.2%
化粧品	△22.0%	△9.5%
構成比	2Q	累計
ヘアケア用剤	68.7%	68.3%
染毛剤	27.1%	27.6%
化粧品	1.3%	1.6%

※出荷額ベースによる数値

© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

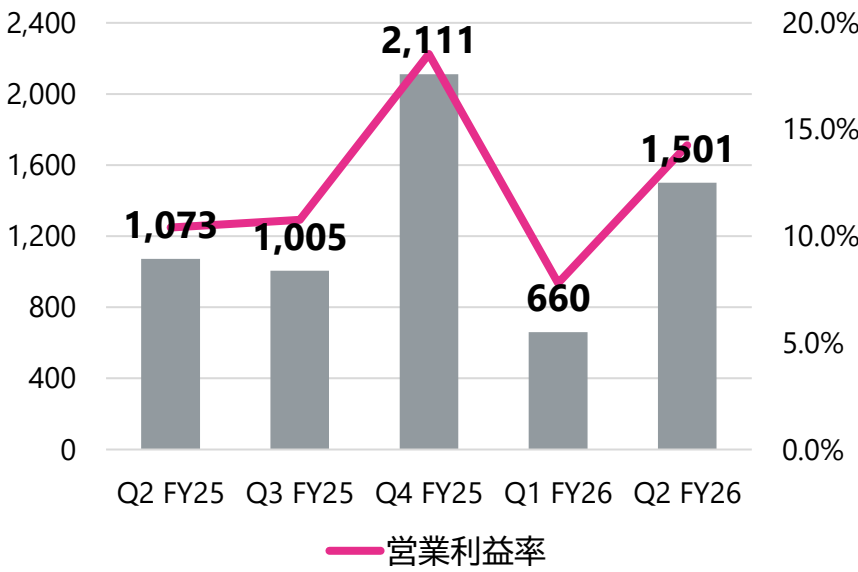
四半期 売上高(百万円)

2Q累計では前年比+2.8%と安定成長を維持。ヘアケア用剤が引き続き業績をけん引するなか、染毛剤も改善傾向がみられる



四半期 営業利益(百万円)

増収に伴い増益を達成。概ね計画通りに着地



営業活動強化により売上高は計画達成。販管費抑制も寄与し、利益は計画超過で着地

カテゴリ別売上高 昨対成長率※

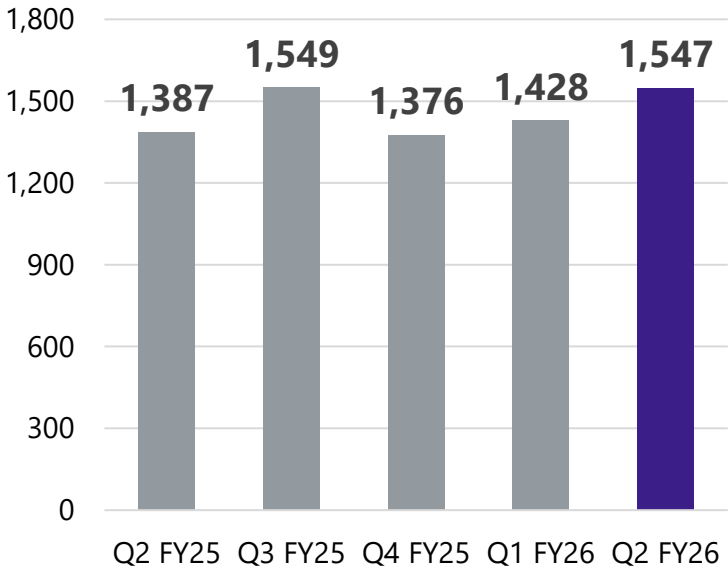
1Qに続き、染毛剤・ヘアケア用剤・パーマ用剤の全カテゴリが高成長。ヘアケア用剤の好調に加え、売上構成比の高い染毛剤も成長を維持し、業績をけん引

FY2026		
売上高 成長率	2Q	累計
ヘアケア用剤	+15.7%	+18.9%
染毛剤	+8.2%	+12.0%
パーマ用剤	+9.6%	+13.2%
構成比	2Q	累計
ヘアケア用剤	25.5%	25.5%
染毛剤	69.0%	68.7%
パーマ用剤	4.9%	5.2%

※現地通貨ベースによる数値
© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

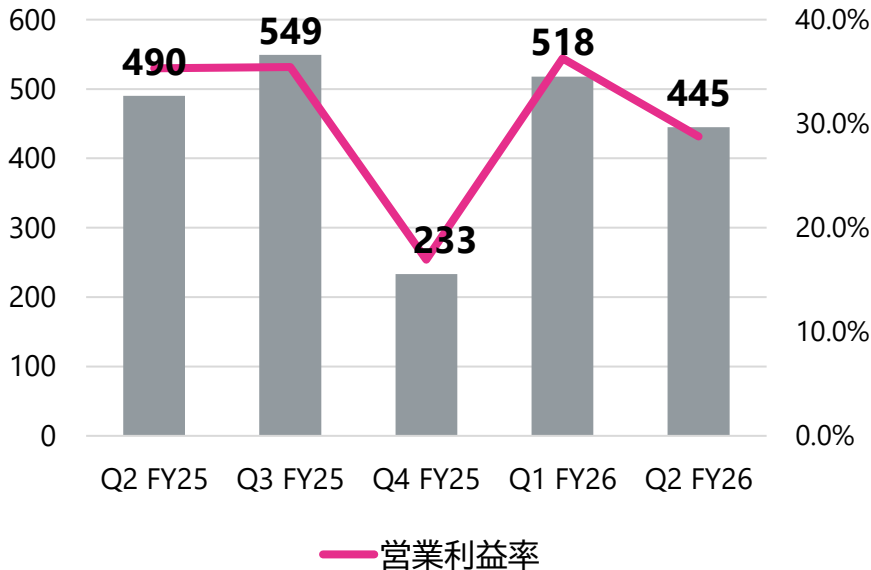
四半期 売上高(百万円)

1Qに続き、2Qも売上成長が継続。民生消費回復クーポン効果があった前年3Qに迫る売上高を達成し、好調に推移



四半期 営業利益(百万円)

売上成長に伴い、営業利益も高水準を維持。計画を上回る着地となった



※ 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載
Find Your Beauty **MILBON**

地域別業績 中国

市場環境は引き続き低調なものの、重点サロンへの提案活動・教育活動の成果により、染毛剤・ヘアケア用剤ともに伸長し、売上・利益とも計画を上回った

カテゴリ別売上高 昨対成長率※

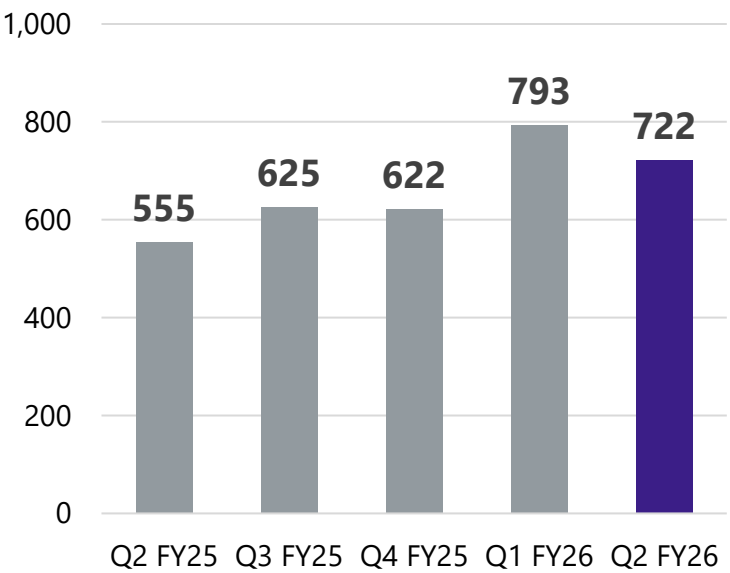
消費者行動の変化を踏まえた政策提案・教育活動が評価され、着実に成果を創出。グローバルミルボンのサロントリートメントも堅調に推移

FY2026		
売上高 成長率	2Q	累計
ヘアケア用剤	+12.3%	+12.8%
染毛剤	+6.6%	+13.5%
構成比	2Q	累計
ヘアケア用剤	62.2%	59.2%
染毛剤	33.5%	35.7%

※現地通貨ベースによる数値

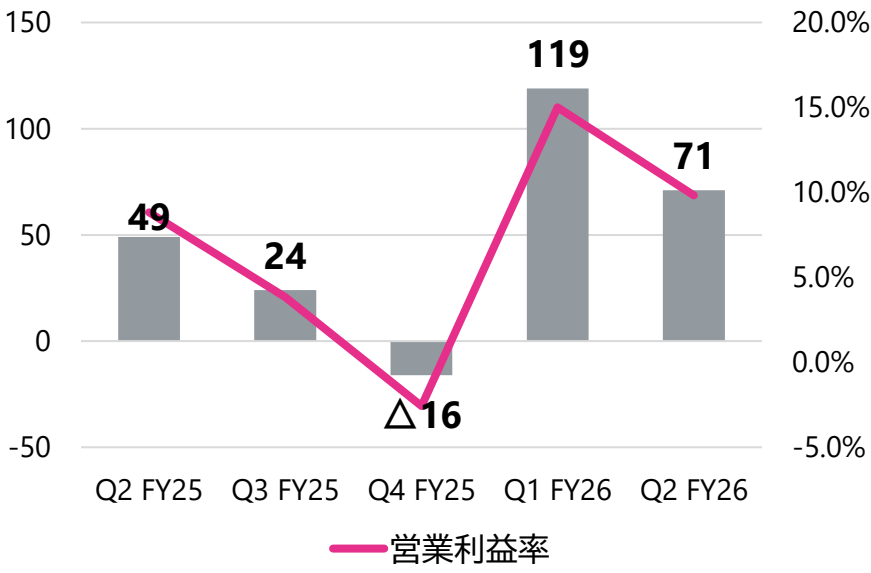
四半期 売上高(百万円)

2Qは季節要因の影響がないなか、売上好調により高い成長率を維持



四半期 営業利益(百万円)

ヘアケア用剤、染毛剤ともに堅調に推移し、増収に伴う粗利増により収益改善が継続



※ 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載

地域別業績 米国

競合ブランドの代理店変更による影響が一巡するなか、2Qは概ね計画線で着地。
前年比では高成長を維持し、収益改善も進展

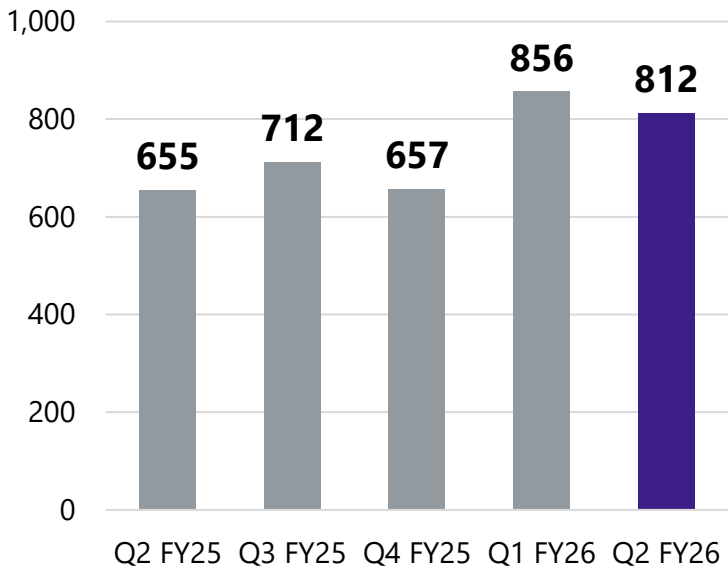
カテゴリ別売上高 昨対成長率※

構成比の高いヘアケア用剤が好調に推移し、代理店との協働体制深化も進展。染毛剤も成長を維持したものの、ヘアケア用剤ほどの伸びには至らず、2Qは概ね計画線で着地

FY2026		
売上高 成長率	2Q	累計
ヘアケア用剤	+13.7%	+36.9%
染毛剤	+0.5%	+28.6%
構成比	2Q	累計
ヘアケア用剤	87.9%	87.8%
染毛剤	7.8%	8.1%

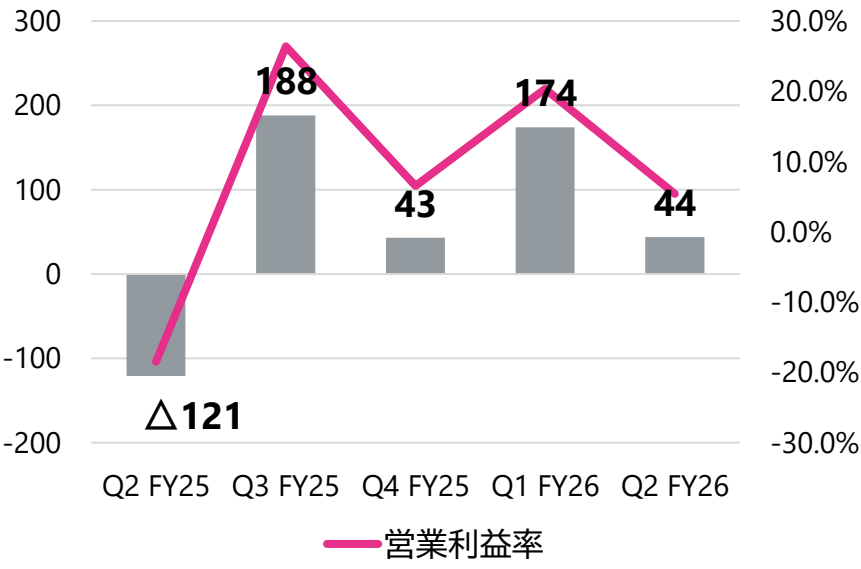
四半期 売上高(百万円)

競合ブランドの代理店変更による一時的な追い風は一巡したものの、セルアウトは堅調に推移



四半期 営業利益(百万円)

増収に伴う粗利増により、収益性の改善が続いている



※現地通貨ベースによる数値
© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

※ 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載
Find Your Beauty **MILBON**

地域別業績 EU

ヘアケア新製品の拡販に加え、新規サロン開拓も進展。カラーアンバサダー施策も寄与し、ドイツ直販を中心に高成長が継続

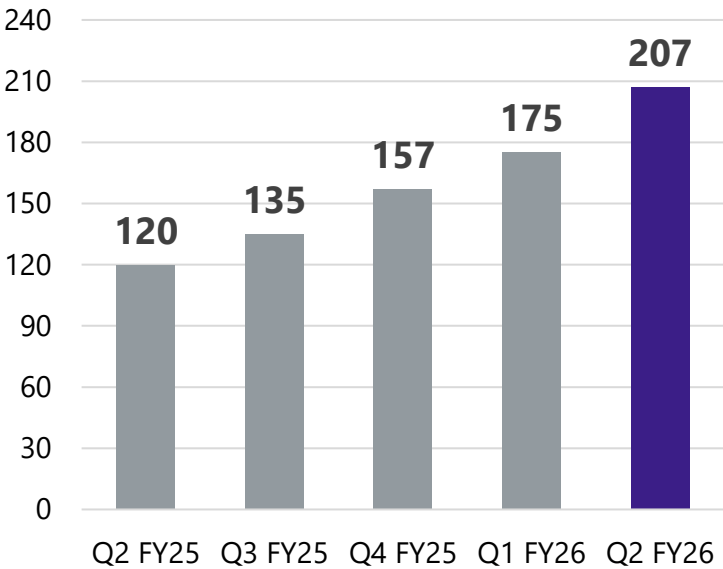
カテゴリ別売上高 昨対成長率※

ヘアケア用剤・染毛剤ともに高成長が継続。ヘアケア用剤は新製品が成長をけん引し、染毛剤も構成比は小さいながら着実に伸長

FY2026		
売上高 成長率	2Q	累計
ヘアケア用剤	+42.9%	+41.8%
染毛剤	+44.9%	+40.2%
構成比	2Q	累計
ヘアケア用剤	76.0%	76.8%
染毛剤	20.1%	19.6%

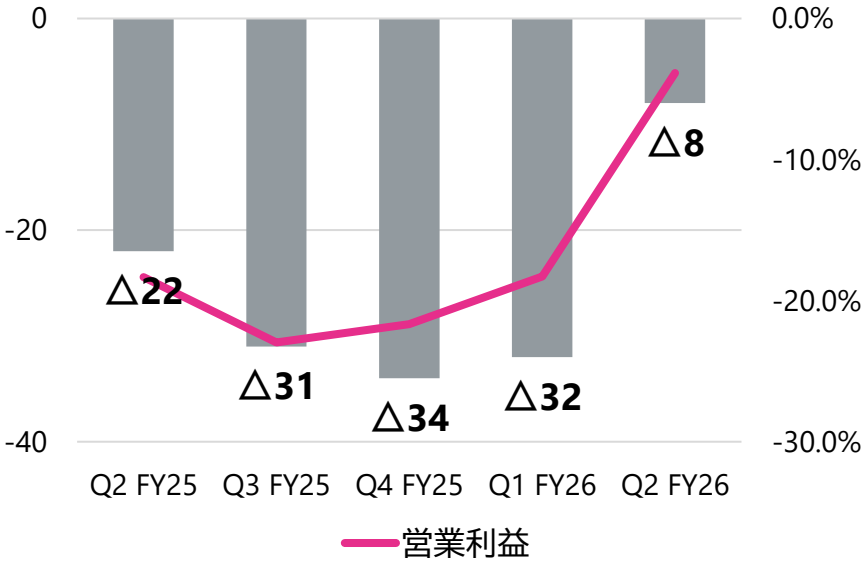
四半期 売上高(百万円)

コミッションセールスの拡充と顧客基盤拡大が進展。カラーアンバサダー施策も寄与し、高成長を維持



四半期 営業利益(百万円)

売上高は堅調に推移する一方、FP増員や管理体制強化などの成長投資を継続しており、営業損失が継続



※現地通貨ベースによる数値
© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

※ 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載
Find Your Beauty **MILBON**

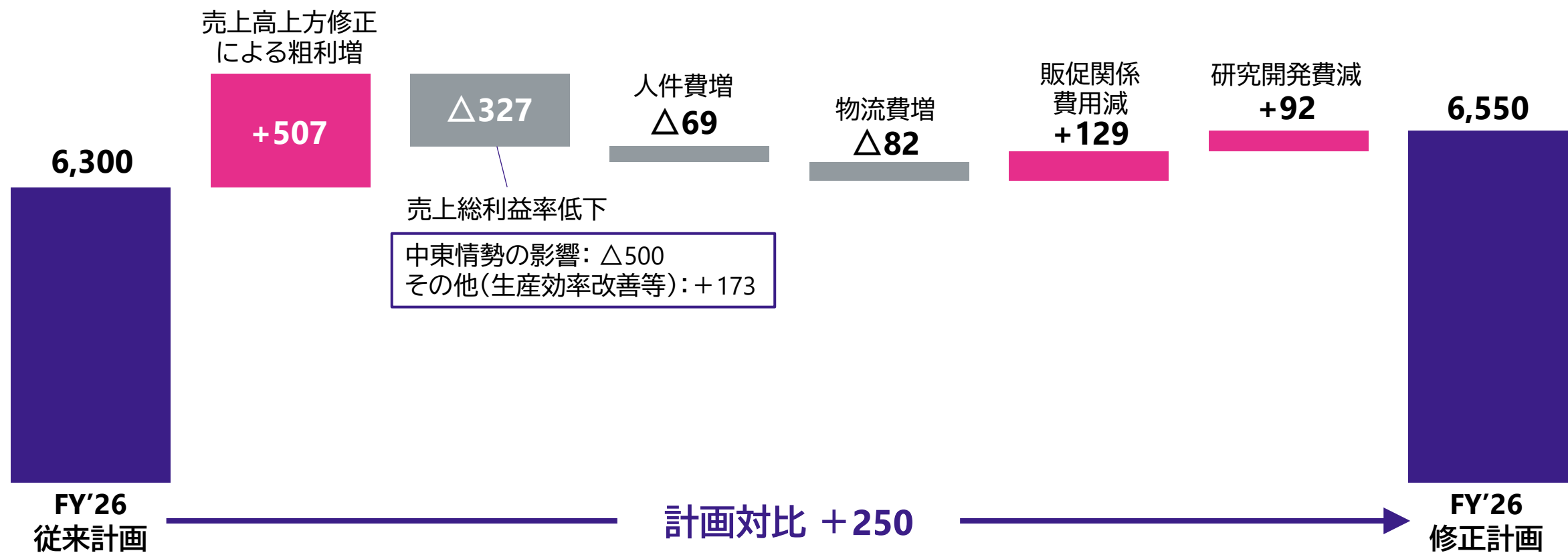
2026年 通期業績予想の修正

(単位:百万円)		FY2025	FY2026 期初計画	FY2026 修正計画	修正額	増減率 (%)
売上高		52,863	54,800	55,600	800	+1.5%
	国内	39,206	39,880	40,050	170	+0.4%
	海外	13,657	14,920	15,550	630	+4.2%
売上総利益		33,176	34,720	34,900	180	+0.5%
	売上総利益率	62.8%	63.4%	62.8%	—	—
販管費		27,523	28,420	28,350	△70	△0.2%
営業利益		5,652	6,300	6,550	250	+4.0%
	営業利益率	10.7%	11.5%	11.8%	—	—
経常利益		5,455	6,180	6,740	560	+9.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益		3,437	4,300	4,600	300	+7.0%
ROE		7.0%	8.6%	9.3%	—	—

業績予想の修正について 連結営業利益増減要因

上期業績を勘案し、売上高上方修正による粗利増を見込む。中東情勢の影響による原材料・資材の追加コストとして+4～5億円見込む。販管費も現状に合わせて修正

(百万円)



業績予想の修正について エリア別の変更内訳

		FY2026（当初計画）		FY2026（修正計画）	
(単位:百万円)		Q2累計	Q4累計	Q2累計（実績）	Q4累計
日本	売上高	18,872	39,880	18,993	40,050
	営業利益	1,900	5,090	2,161	4,850
	利益率(%)	10.1%	12.8%	11.4%	12.1%
海外	売上高	7,253	14,920	7,884	15,550
	営業利益	500	1,210	1,185	1,700
	利益率(%)	6.9%	8.1%	15.0%	10.9%
韓国	売上高	2,885	5,802	2,975	5,900
	営業利益※1	972	1,822	1,108	1,870
	利益率(%)	33.7%	31.4%	37.2%	31.7%
中国	売上高	1,324	2,623	1,515	2,820
	営業利益	81	144	209	280
	利益率(%)	6.2%	5.5%	13.8%	9.9%
米国	売上高	1,316	2,850	1,668	3,250
	営業利益	△106	37	274	360
	利益率(%)	△8.1%	1.3%	16.4%	11.1%
EU	売上高	324	666	383	730
	営業利益	△50	△92	△33	△80
	利益率(%)	△15.6%	△14.0%	△8.8%	△11.0%
その他※2	売上高	1,402	2,979	1,341	2,850
	営業利益	224	487	249	458
	利益率(%)	16.1%	16.3%	18.6%	16.1%
(配賦コスト)		△621	△1,188	△621	△1,188

※1 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載(全社配賦コストは最下段に記載)

※2 台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、トルコ、UAE

中東情勢の緊迫化による当社業績への影響について

調達・供給体制は安定的に維持。コスト増影響は通期見通しに織り込み済み

事業活動への影響および対応

「現時点で調達への大きな影響は発生していない」

- ・ 一部の原材料・資材、および物流コストの上昇リスクは継続して注視する
- ・ グローバルSCMの活用と在庫管理の強化により、安定供給体制を維持している

製品供給の現状について

「現時点で製品供給に大きな支障は発生していない」

- ・ 日本だけでなく、タイおよび中国の生産拠点を活用し、安定供給体制を確立しているため
- ・ グローバルSCMを活用し、原材料・資材の代替品、および代替ルートを確保しているため

業績への影響および今後の見通し

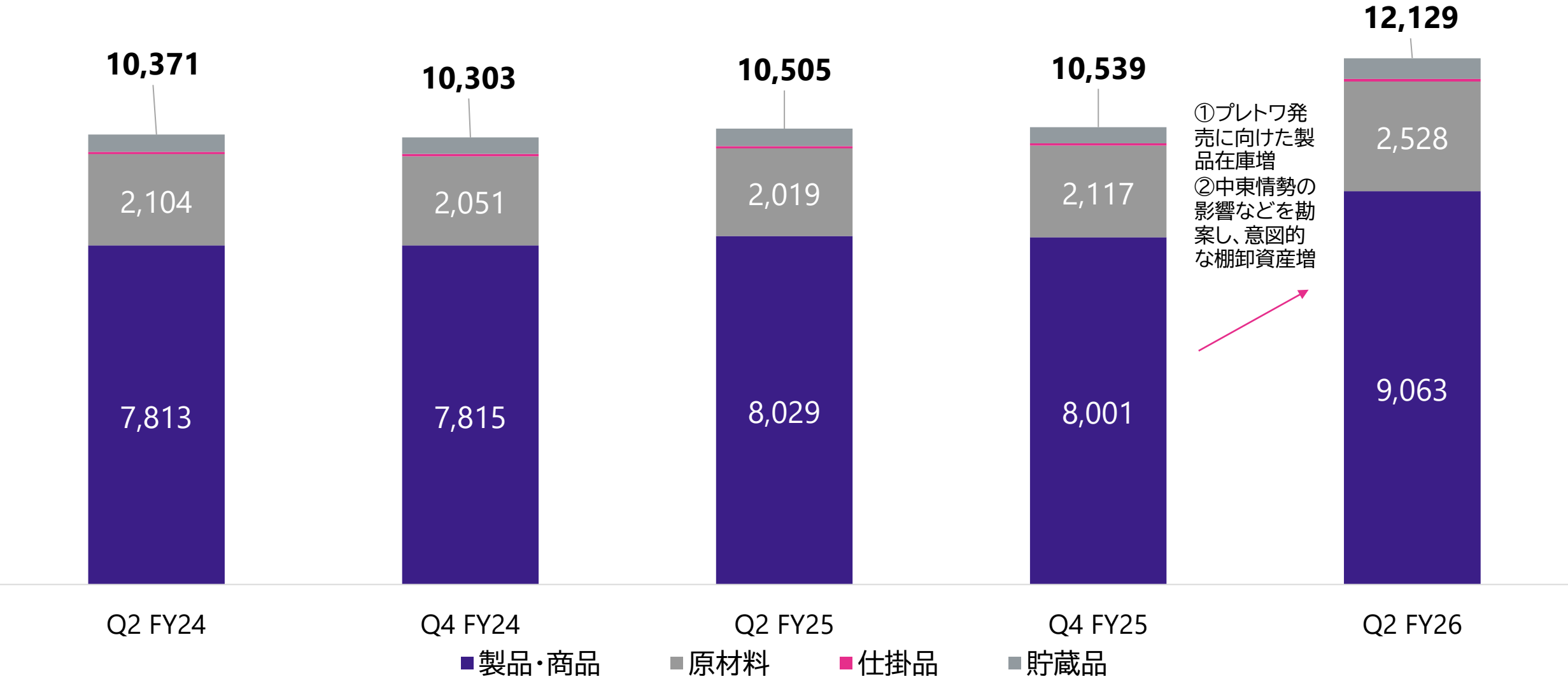
「原材料・資材および物流コストの増加影響は通期見通しに織り込み済み。

地政学的リスクの動向を注視し、重要な影響が見込まれる場合は速やかに開示する」

- ・ 新ヘアカラー剤「プレトワ」は安定供給体制を確認し、9月10日に発売予定
- ・ 引き続き、原価・販管費両面で適切なコストコントロールを実施していく

棚卸資産の状況

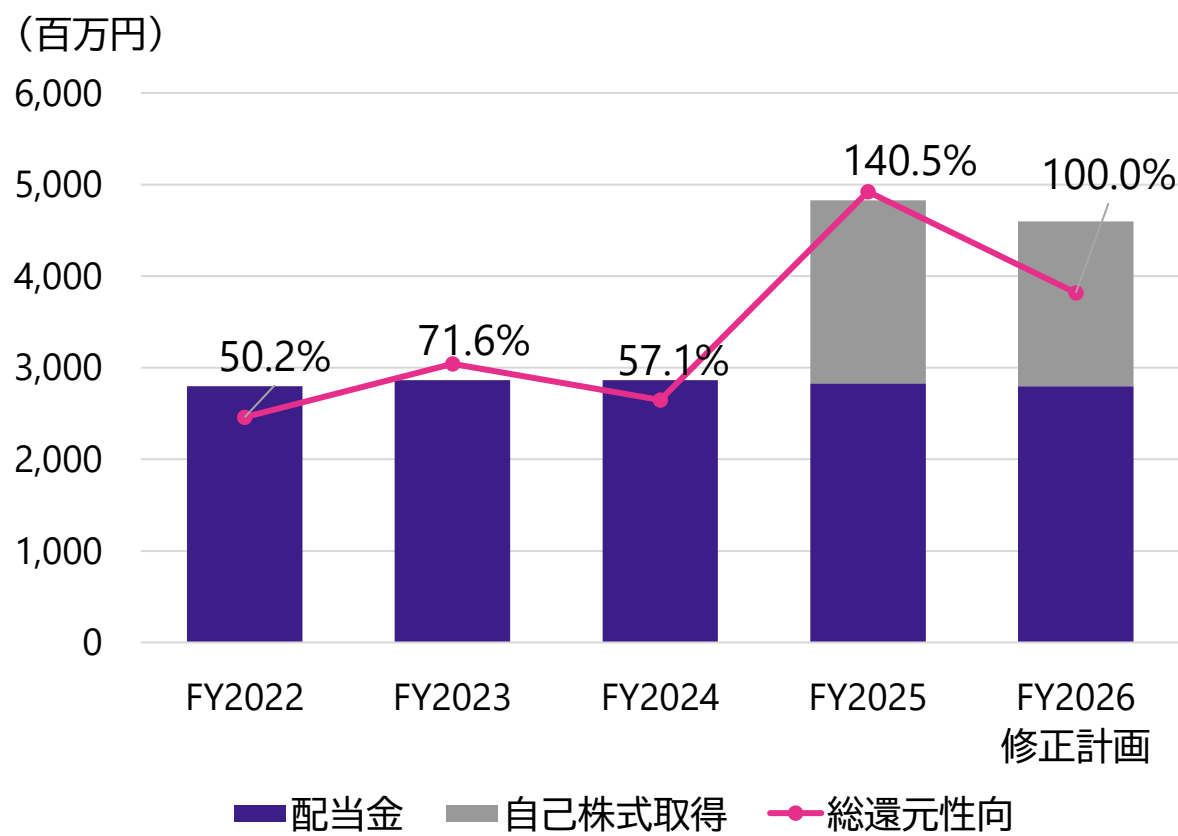
(百万円)



株主還元 配当・自己株式の取得

累進配当方針のもと、中間配当40円を決定、期末配当予想48円を維持。資本効率向上および株主還元強化に向け、18億円を上限とする自己株式取得を決定

総還元額の推移



	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 (計画)
一株当たり配当金(円)	88	88	88	88
配当総額(百万円)	2,863	2,865	2,829	2,798
自己株式取得(百万円)	–	–	1,999	1,800
総還元性向(%)	71.6%	57.1%	140.5%	100.0%

株主還元方針

- ・ 総還元性向50%以上目安
- ・ 累進配当
- ・ 成長投資を最優先に、余剰資金は機動的な自己株式取得に充当

Contents

- 1. 連結業績————— P3
- 2. 地域別業績・業績予想の修正————— P7
- 3. Milbon Group 2026年度の進捗————— P20**
- 4. Appendix————— P40

上期の振り返り

国内は新ヘアカラーブランド「プレトワ」の発売延期の逆風下で計画達成。海外の好調な業績を受け、コスト増を織り込みつつ通期計画を上方修正

日本国内

ヘアケア

「スワエ」などの新製品が好調に推移。
「オージュア」や「グローバルミルボン」などのプレミアムブランドも堅調

染毛剤

二極化の影響は継続。「プレトワ」発売延期によりファッションカラーは苦戦したものの、
「ヴィラロドラ カラー」を中心にグレイカラーが堅調に推移

海外

韓国

営業活動強化により売上高は計画達成。販管費抑制も寄与し、利益は計画を上回って着地

中国

市場環境は低調ながら、政策提案・教育活動が成果につながり、染毛剤・ヘアケアともに成長

米国

競合ブランドの代理店変更によるプラスの影響は一巡したものの、代理店との協働体制深化が進み、
セルアウトは堅調に推移

EU

顧客基盤拡大とカラーアンバサダー施策が寄与し、ドイツを中心に高成長継続

その他

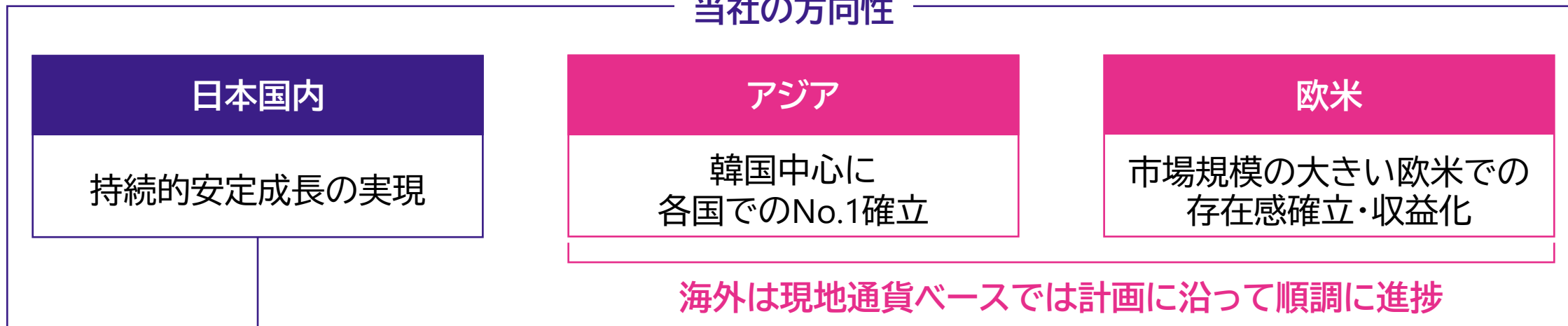
株主還元

中間配当40円を決定。業績や資金動向を勘案し、18億円を上限とする自己株式取得の実施を公表

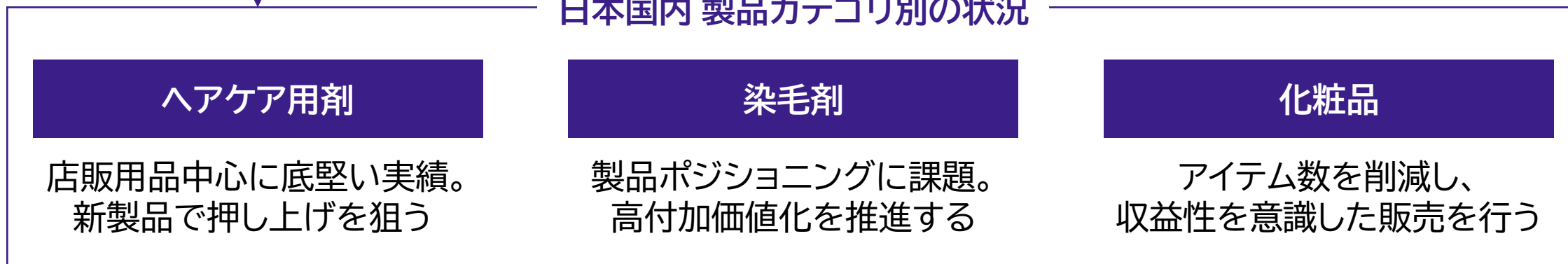
1年前(2025年2Q時点)に公表した「当社の方向性と現状の課題」

国内安定成長・アジアでのNo.1確立・欧米での成長加速に取り組んでいる。
海外は順調も、国内は高付加価値化に課題

当社の方向性

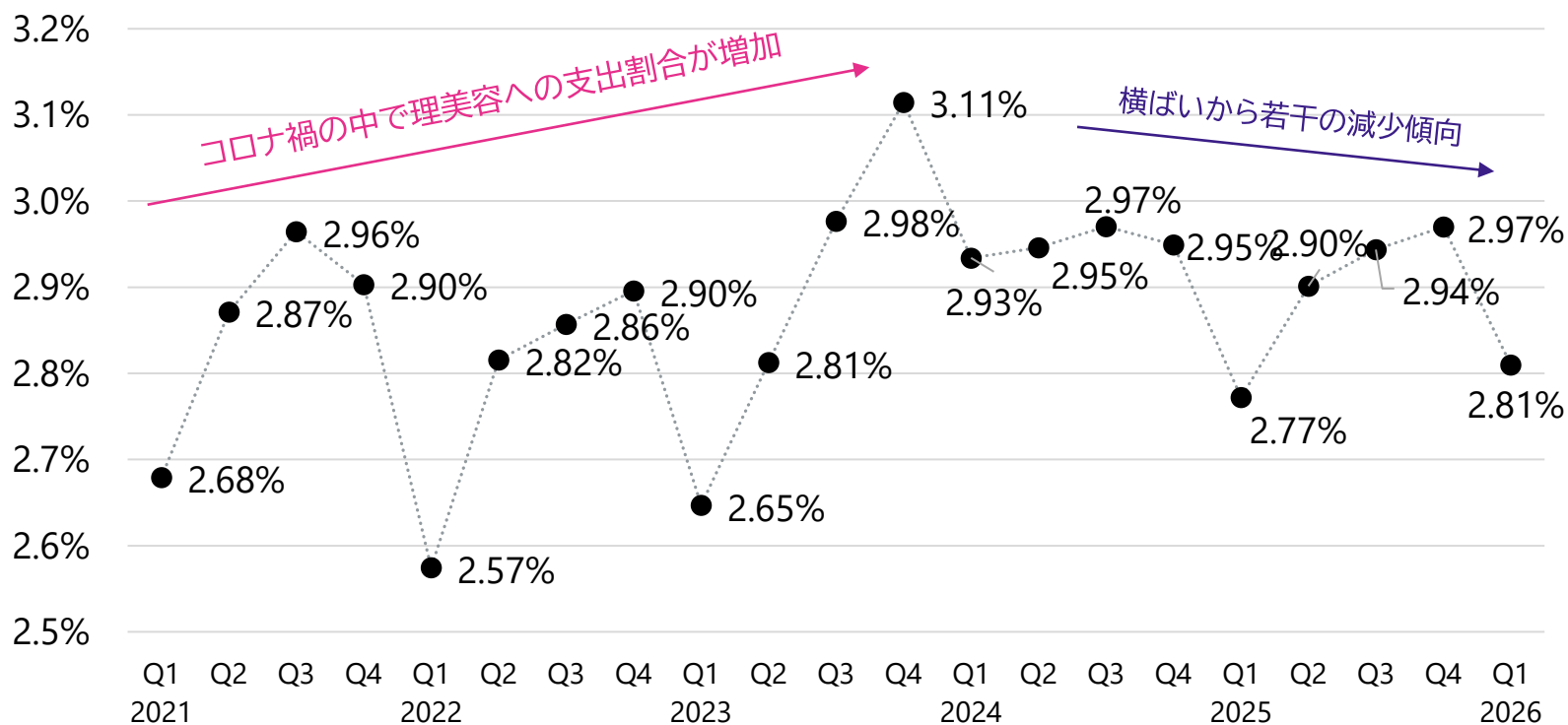


日本国内 製品カテゴリ別の状況



家計に占める理美容支出の割合は横ばいからやや低下傾向。物価上昇に伴う節約志向が高まる中、消費行動の変容への対応が急務

「美容消費係数」※の推移



消費の仕方に変化

顧客視点

- 1回の支払額を抑えたい
- 必要なものは高額でも購入
- 失敗したくない・お試しが先

環境整備

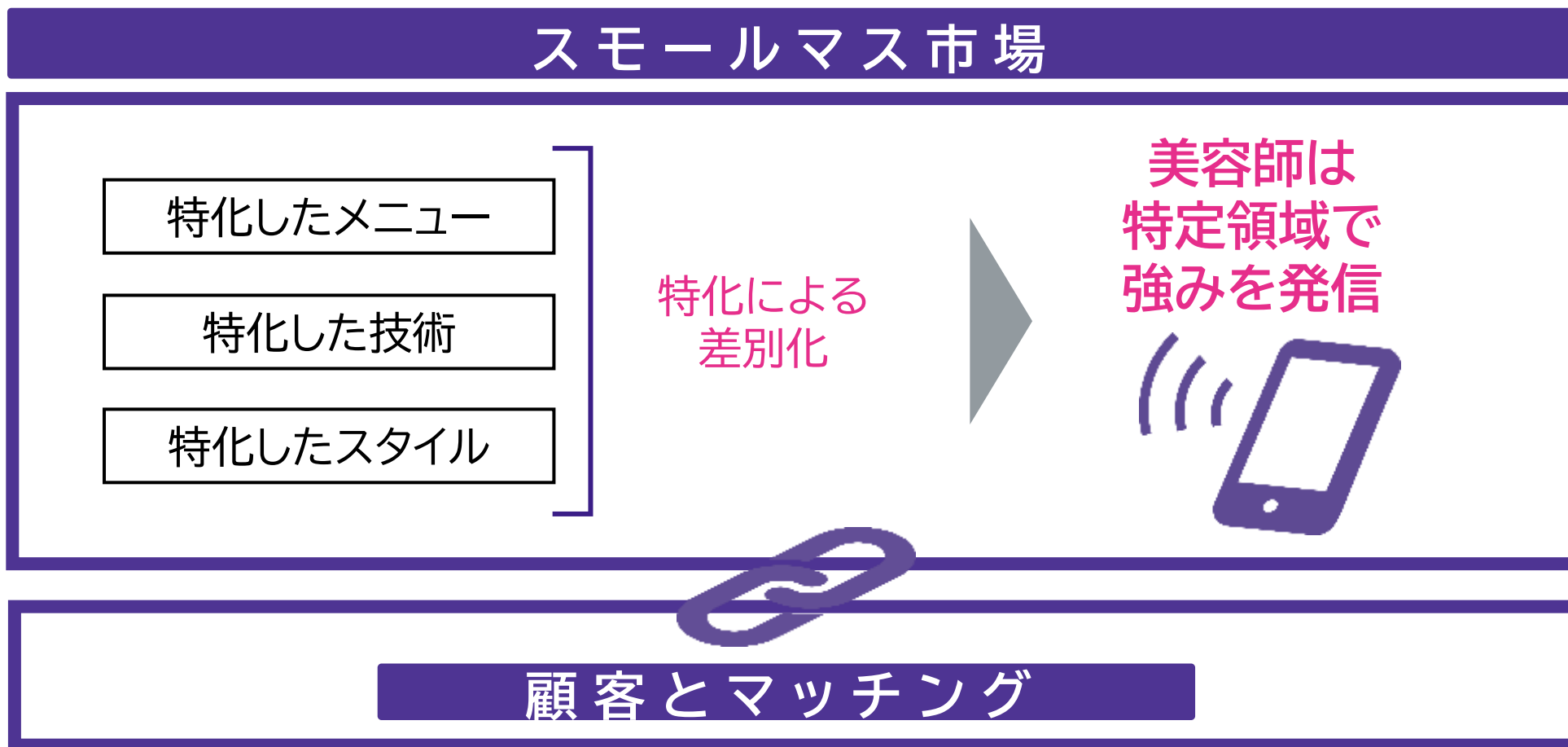
- メニュー価格のオプション
- 店舗支払とは別の購入環境
- 体験・トライアルの機会

顧客視点でのメニュー、価格設定、商品購入環境の整備が重要

※出典：株式会社リクルート ホットペッパービューティーアカデミー
総務省「家計調査」の総世帯のデータより、理美容サービス・用品費用（「理美容サービス」と「理美容用品」の合計）の「消費支出」における比率を「美容消費係数」と定義

国内市場環境 サロンの成長戦略

消費者は、日常的に美容に関する興味関心をSNSで情報収集している。
スタッフの強みを磨き、特定領域で強みを発信し、顧客とマッチングする時代



国内 2026年の当社の取り組み

スモールマス市場を捉えた商品展開により、特徴・ターゲットが明確な業務用・店販用品の提案を強化。美容師の情報発信を支援し、業績拡大に貢献

大人世代

染毛剤

新ヘアカラーブランド「プレトワ」投入によるサロンカラーの高付加価値化と顧客別カラーメニューづくり支援で巻き返しを図る



ヘアケア用剤

オージュア新ラインによる業務メニュー・店販用品の高付加価値化



若年層

ヘアケア・スタイリング

トレンド、特定の悩み(くせ毛)、メンズ細分化されたニーズへの店販対応



メンズ向け
スタイリングシリーズ



国内 ヘアケア用剤の状況

インフレ影響が継続するなか、ヘアケア用剤は上期前年比+4.4%と堅調に推移。
新製品の好調に加え、教育活動を通じて更なる売上伸長を図る

オージュア

FY26上期 国内販売高 前年同期比+2.5%

milbon:iDにより来店頻度の影響を受けにくい構造。
店販用品中心に堅調に推移し、新商品「ミラジェリィ」の
販売期間が前年より2カ月短い中でも、「オージュア」は
上期前年比+2.5%と堅調



※出荷額ベースによる数値。

© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

新商品

FY26上期 国内販売高 4.5億円

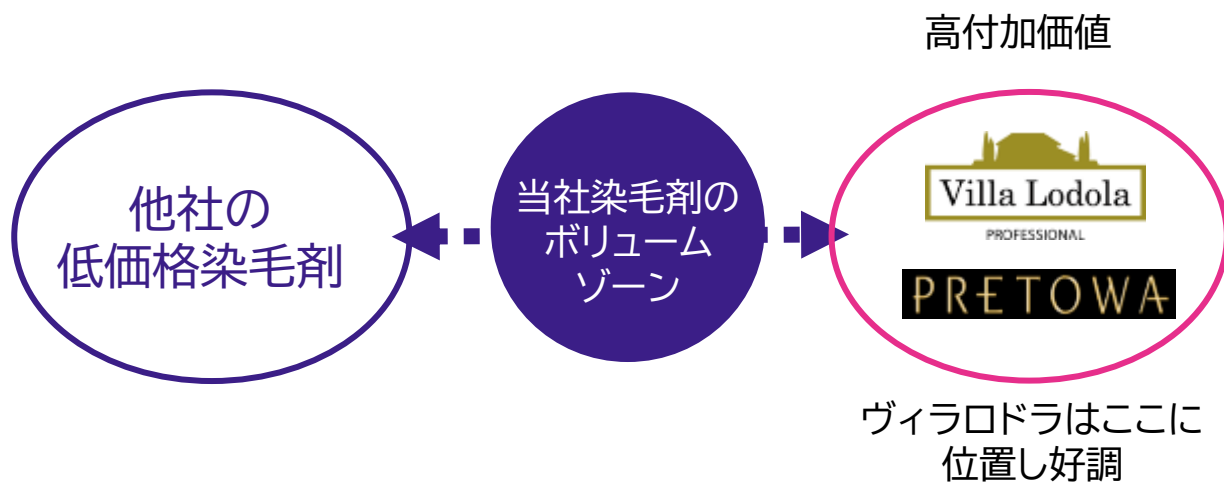
2月発売の「スワエ」、3月発売の「ニゼル」が好調に
推移。スモールマス市場への提案が奏功しており、
下期にはメンズ市場向けの新スタイリングシリーズ
投入を予定



国内 染毛剤市場の状況

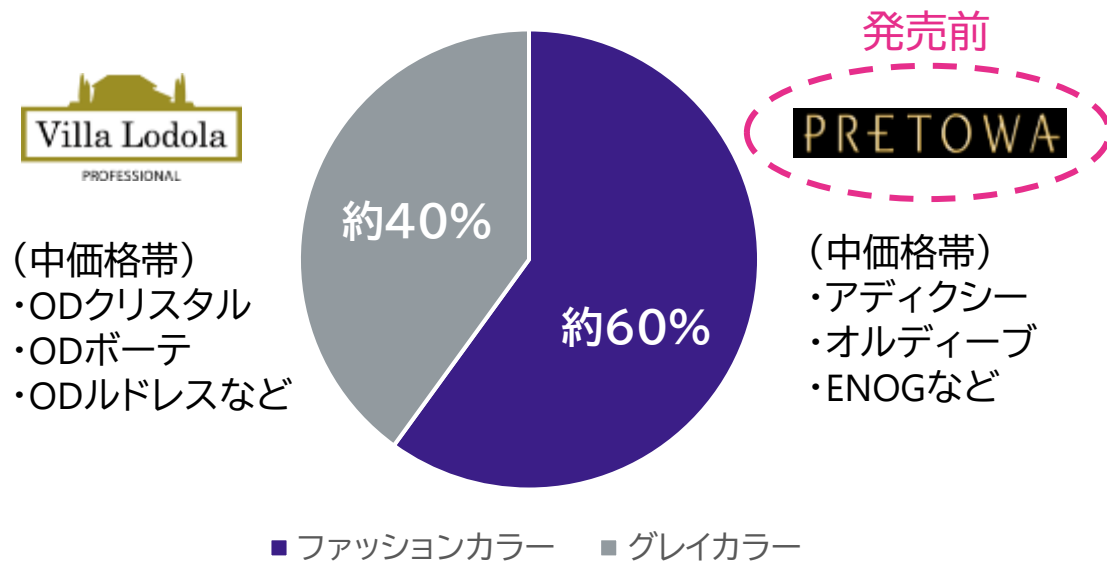
二極化が進む市場環境の中、「プレトワ」発売延期の影響によりファッションカラーは前年を下回ったものの、「ヴィラロドラ カラー」は好調に推移し、染毛剤全体の減収幅は軽微

二極化が進む染毛剤ニーズ



低価格染毛剤の勢いは落ち着いてきたが、ニーズは継続。
強い独自性や消費者認知を持つ高付加価値染毛剤は堅調

ファッションカラーとグレイカラー



当社は幅広い染毛剤のラインナップを揃えるが、
ファッションカラーの高付加価値染毛剤は未投入

国内 新ヘアカラーブランド「プレトワ(PRETOWA)」

9月10日に新ヘアカラーブランド「プレトワ」を発売予定。プレマーケティングでは代理店・美容室双方から高い評価を獲得。発売延期を受け、今期の売上目標は7億円へ修正

付加価値の高い感動体験の実現

瞬間価値

持続価値

継続価値

カラー単価向上 / リピート率向上を支援

従来品では避けられなかったヘアカラーの悩み

ダメージ

色もち

不快臭

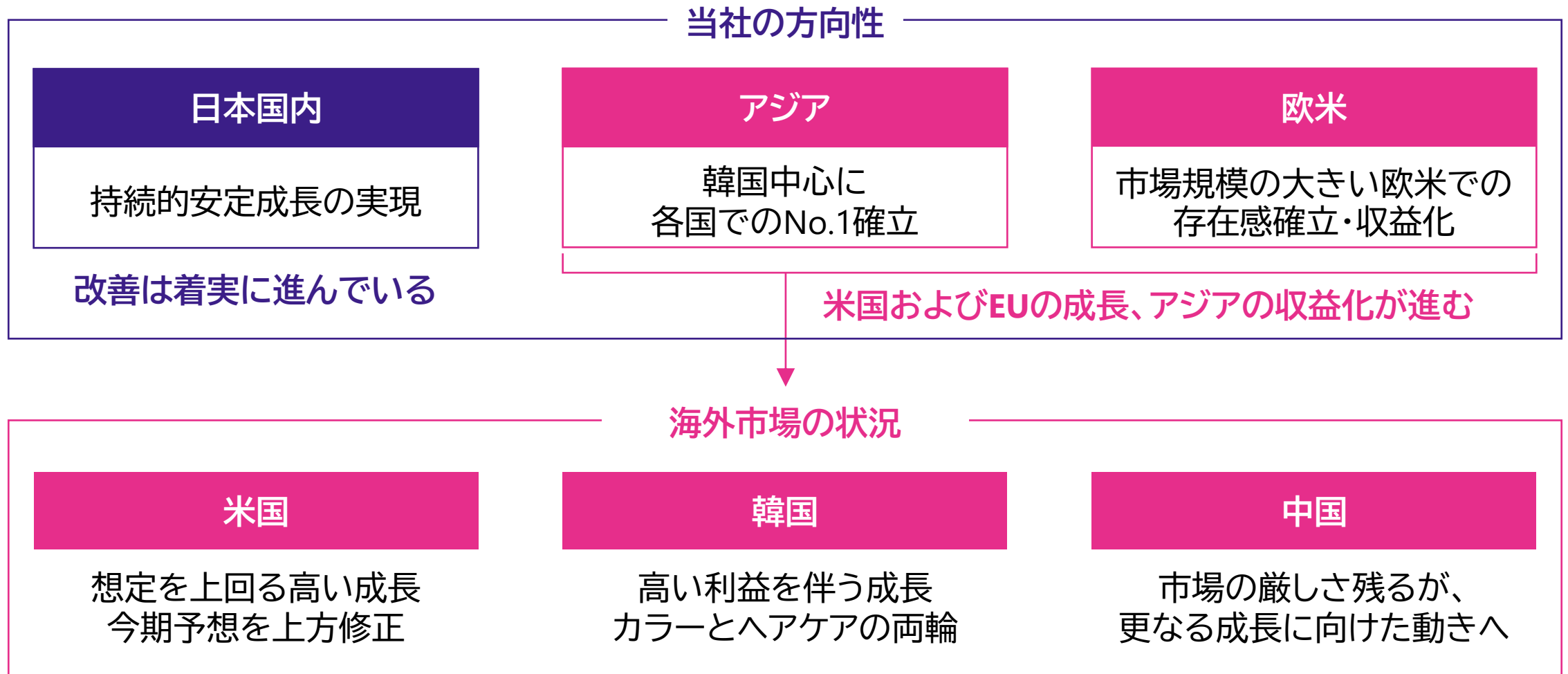
ヘアカラーの悩みを解消する次世代のカラー



2026年プレトワ売上目標：10億円→7億円
販売期間：7カ月→4カ月

将来に向けた当社の方向性と現状の機会

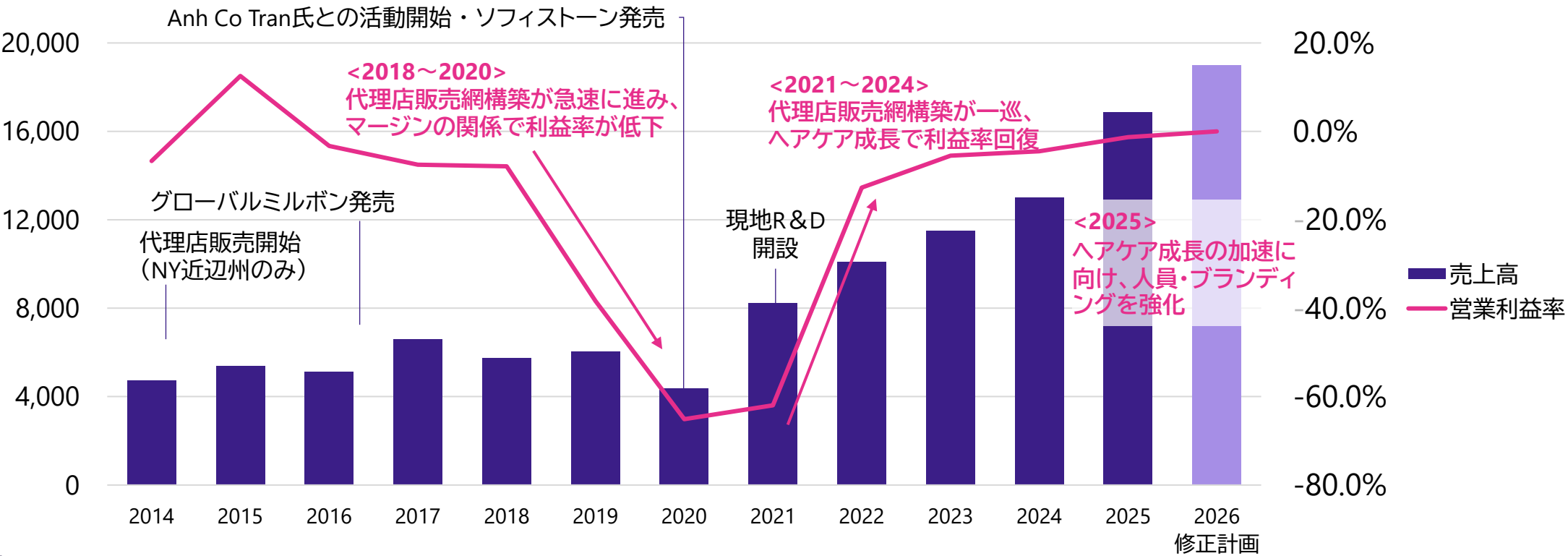
国内事業は着実に改善。海外はアジアでのNo.1確立と欧米事業の成長加速を推進



米国:成長加速に向けた取り組みと成果

広大な国土における販売体制構築や欧米特有の髪質への対応を進め、代理店販路構築と製品戦略の転換を推進。コロナ禍後は成長が加速

(千ドル)



直販・代理店 売上比率	直販*1	94	88	85	84	74	42	38	28	20	19	17	13
	代理店	6	12	15	16	26	58	62	72	80	81	83	87

*1 美容室直販については、2025年現在マンハッタン周辺のみ実施
* 売上高は現地通貨ベース、営業利益率は円ベースの表示

米国:「グローバルミルボン」の競争優位性

米国市場では「グローバルミルボン」の製品力が高く評価されている。美容室の差別化につながる2つの競争優位性

①サロンメニューの価値を高める業務用品

即効性・持続性を兼ね備えた、日本発のサロントリートメント(ホームケア付き)の多彩なメニュー提案に競争優位性。美容技術とホームケアが組み合わせることで顧客満足度向上につながっている



②サロンの収益に貢献する店販品

サロントリートメントの確かな仕上がりによって、美容師から顧客への信頼を高め、店販品購入につながっている。ホームケアでも高い効果を実感できることで、リピートにつながり、サロンの収益向上に貢献している

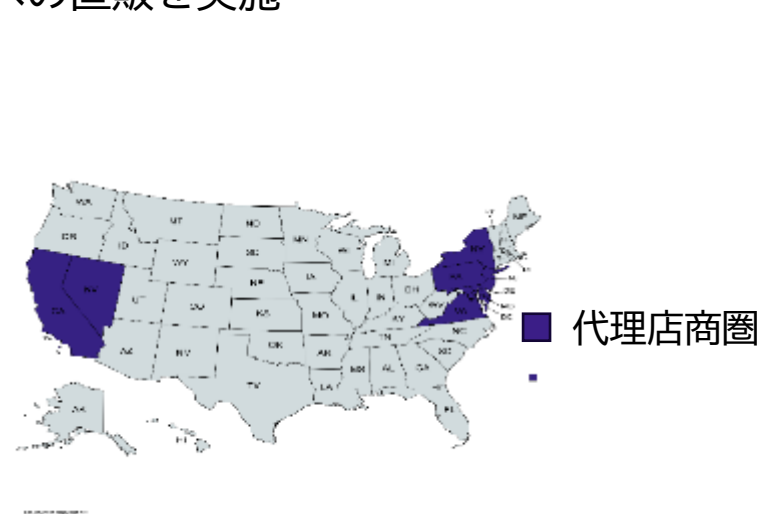


米国:成長を支える代理店網とインスタシェアの拡大

北米全域での販売体制構築を完了。西部・東部の主要代理店でインスタシェア1位を獲得し、中部の大型代理店でもシェア拡大が進展

2018年

代理店商圏以外は、美容室
への直販を実施



ミルボン売上(千ドル)	5,730
代理店社数	3
代理店セールス人数	50

2024年

北米での代理店販売網を確立



ミルボン売上(千ドル)	13,013
代理店社数	9
代理店セールス人数	312

2026年(1-6月)

代理店内のインスタシェア上昇



西	シェア1位(Sweis/赤)
中央	シェア2位(SSG/青)
東	シェア1位(TRU/紫)。直販再成長

米国:成長を支える競争優位性

日本で培ったビジネスモデルが米国市場でも浸透。ヘアケアを起点に支持を拡大し、教育・経営支援モデルへの展開を推進

市場環境

美容技術教育や高機能製品への需要が高く
市場規模は世界最大。一方で、広大な国土によって効率的な販売・教育活動のハードルが高い

競争環境

代理店・美容室を通じた販売から、小売や自社EC等のルートで、**消費者への直販を行う競合が増加**

ミルボンの米国での強み

ポジション

美容室・美容師に特化した事業展開により、**代理店・美容室との信頼構築**

製品力

日本で培ってきた技術・製品力が
ヘアケアへの製品評価が非常に高い

販売力

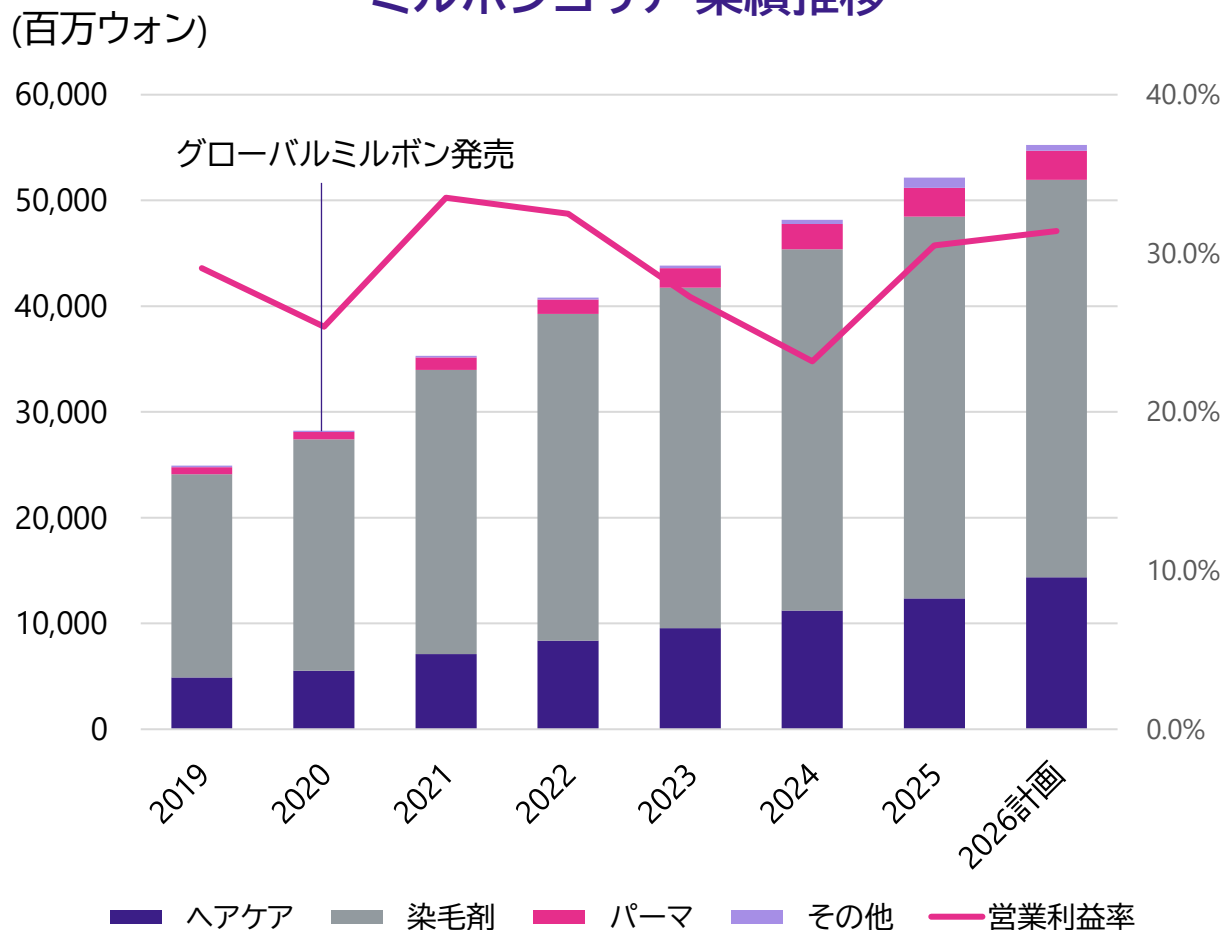
全米販売網を構築し、代理店育成とFP増員により教育網を強化

- ✓ 代理店・美容室とともに成長する姿勢が支持され、強固なパートナーシップを構築
- ✓ 日本で培った技術・製品力が競争優位性となり、ヘアケアを中心に需要を獲得
- ✓ 代理店育成とFP増員を通じ、教育・経営支援モデルへの進化が進展

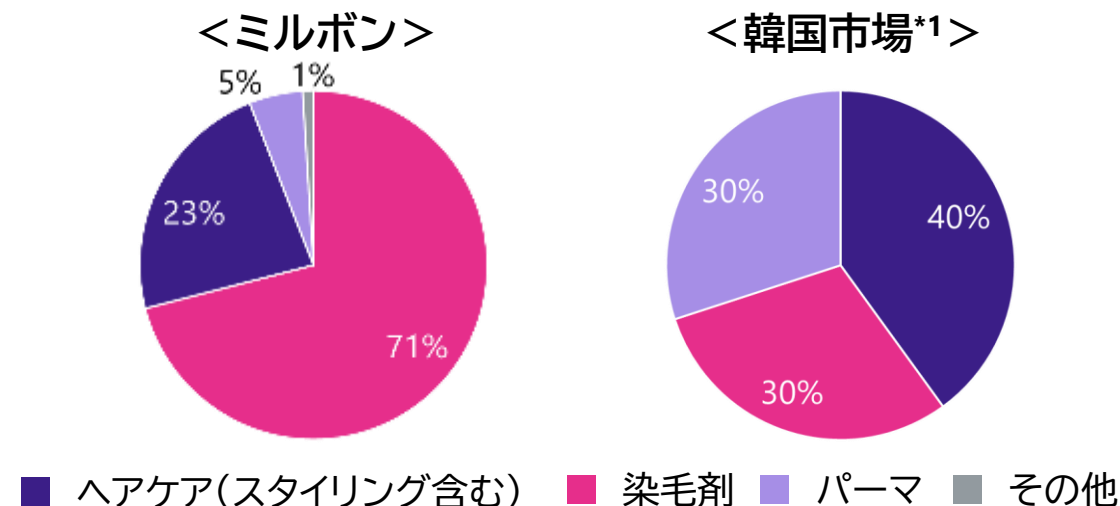
韓国：韓国市場でのNo.1に向けた取り組み

推定シェアは2位。トップ企業の成長が鈍化する中、当社は高成長を継続。染毛剤を成長ドライバーに、ヘアケア・パーマの伸長による更なる業績拡大を目指す

ミルボンコリア 業績推移



カテゴリ別売上・市場構成比



ヘアケア:オージュア・グローバルミルボンを軸に、カラーとのクロスセルを推進
パーマ:韓国市場のニーズに合わせた製品開発を推進

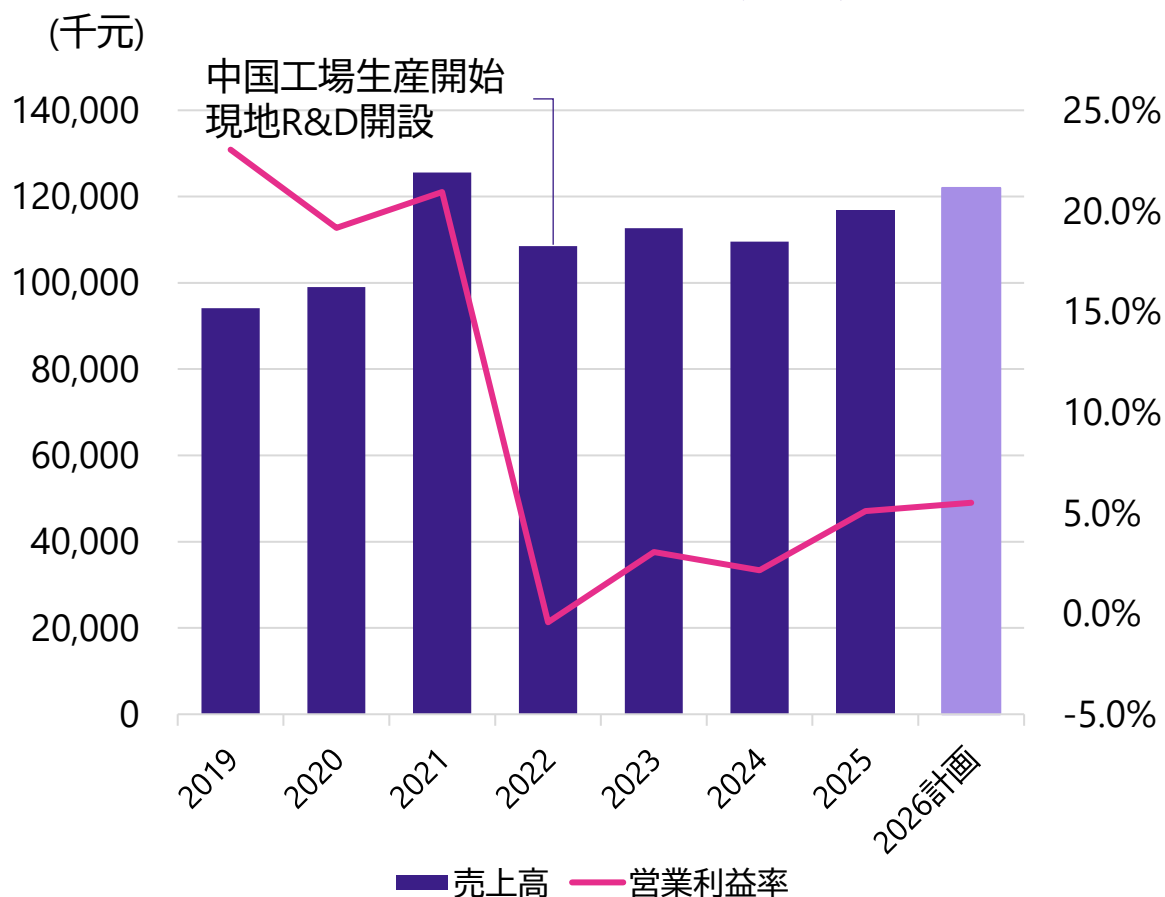
*1 韓国市場の構成比はミルボン調べ

* 売上高は現地通貨ベース、営業利益率は円ベースの表示

中国：消費者行動の変容がもたらす市場変化とミルボンの理念の浸透

コロナ禍以降、市場環境は大きく変化した、当社の提案活動は着実に浸透。美容室の成長につながる「政策」提案が支持され、売上拡大とプレゼンス向上につながっている

ミルボン中国 業績推移



シェア

・ 推定シェア4位

→「政策」を通じた美容室への経営戦略提案、それに紐づいたヘアケアの提案が支持を受け、厳しい市場環境でも成長

2024年9月の教育イベントの様様



2025年3月の政策発表の様様



→当社の活動に対し美容師からの支持が集まっている

* 売上高は現地通貨ベース、営業利益率は円ベースの表示

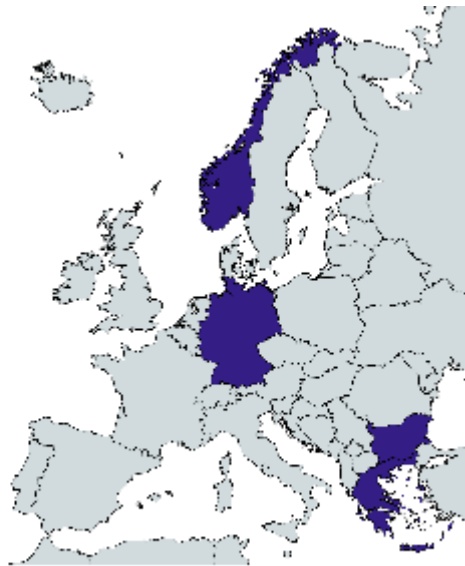
EU:ドイツを起点とした成長市場への展開

コミッションセールスの拡大によりドイツでの販売基盤を強化。さらなる市場浸透を進めるとともに、代理店モデルを活用した欧州各国への展開を加速

EU・EEA圏内での販路拡大

2025年からギリシャ・ノルウェーにて代理店販売開始。
欧州はドイツ拠点だが、各国において考え方が合致する
代理店とのパートナーシップを増加させ、販売地域を拡大
していく

代理店の拠点と販売網を
活用し、最低限の固定費で
展開国を広げていく

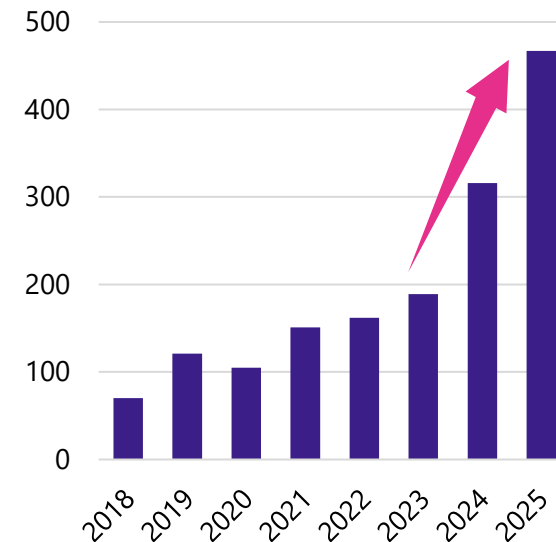


ドイツでの販売基盤強化

2018年から代理店販売を行っていたが、2022年に現地
法人を設立し直販に切り替え。2024年から、競合メーカー
での営業経験を有するセールス数名とコミッション契約し、
成長が加速。その後契約を拡大している

<ドイツにおけるグローバルミルボン軒数>

(軒)



カラーアンバサダー・コ
ミッションセールス施策
が寄与し大幅伸長

本日のまとめ

国内は染毛剤の新商品「プレトワ」発売延期の影響を受けながらも、全体では計画を上回る進捗。下期は「プレトワ」の発売でシェア回復を狙う。海外は米国の好調もあり、通期業績を上方修正

日本国内の安定成長



主力のヘアケアは堅調な推移。
高付加価値提案と新製品が成長をけん引し、下期はメンズ向け商品を展開



染毛剤は活動効果が出てきているが、プラスには至らず。新商品「プレトワ」待ち



化粧品は厳しい状況だが、商品の絞り込みと活動の集中は進んでいる

海外の売上規模拡大・収益化

欧米

米国を中心に海外が好調に推移し、業績上方修正をけん引

アジア

韓国はカラーとヘアケアの両輪での成長。韓国No.1に向けて進む
中国は「政策」提案の浸透が進み、次の成長ステージが見えつつある

資本効率改善・株主還元の強化

中間配当40円を決定し、累進配当を継続

18億円を上限とする自己株式取得を実施

2026年 通期業績予想の修正

(単位:百万円)		FY2025	FY2026 期初計画	FY2026 修正計画	修正額	増減率 (%)
売上高		52,863	54,800	55,600	800	+1.5%
	国内	39,206	39,880	40,050	170	+0.4%
	海外	13,657	14,920	15,550	630	+4.2%
売上総利益		33,176	34,720	34,900	180	+0.5%
売上総利益率		62.8%	63.4%	62.8%	—	—
販管費		27,523	28,420	28,350	△70	△0.2%
営業利益		5,652	6,300	6,550	250	+4.0%
営業利益率		10.7%	11.5%	11.8%	—	—
経常利益		5,455	6,180	6,740	560	+9.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益		3,437	4,300	4,600	300	+7.0%
ROE		7.0%	8.6%	9.3%	—	—

次期中期経営構想(2027-2031)策定にあたり、現状考えていること

外部環境の変化

- ・低成長・インフレ常態化や人口・産業構造の変化により事業環境は大きく変化
- ・国内市場の構造変化やグローバル競争の激化、AI技術の進展を踏まえ成長戦略を進化

次の成長ステージへ ～顧客価値の深化とグローバル成長の両立～

国内

- ・高付加価値提案と生産性向上による収益力強化
- ・サロン向けの教育体制を充実し、競争力強化
- ・多様化する美容室にあわせたマーケティング活動

海外

- ・米国、EU、韓国、中国を重点市場とした成長
- ・国内で確立した高収益モデルを基盤に、海外での成長を加速

成長を支える経営基盤と財務方針

- ・DX・AI活用による生産性向上
- ・キャッシュ創出力の向上
- ・成長投資と株主還元の両立
- ・ROE・ROICを意識した資本政策

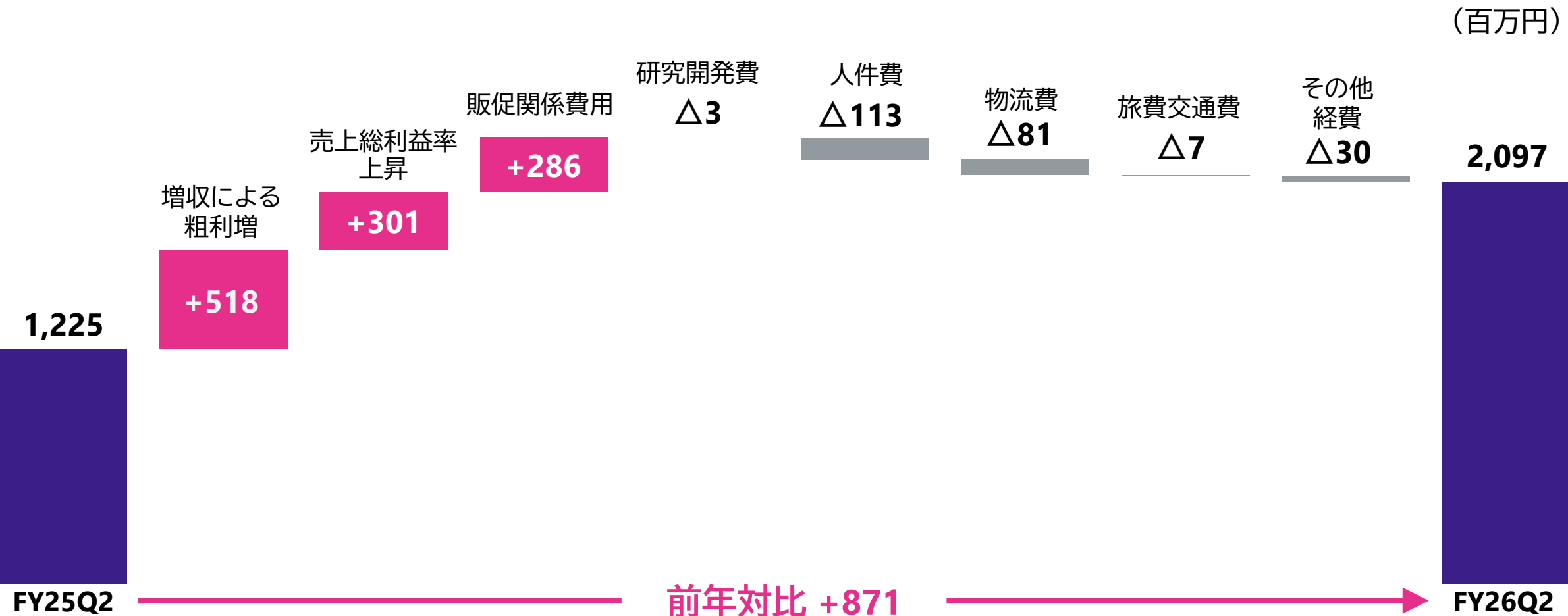
※詳細は2027年度より開始する次期中期事業構想にてご説明予定（2027年2月開示予定）

Contents

1. 連結業績	P3
2. 地域別業績・業績予想の修正	P7
3. Milbon Group 2026年度の進捗	P20
4. Appendix	P40
連結営業利益の増減要因(四半期ベース)	P41
主要ブランド別の状況	P43
国内・海外の売上高・営業利益の実績と計画	P46
連結カテゴリ別売上高・構成比	P47
国内・海外カテゴリ別売上高増減率・構成比	P48
設備投資等の状況	P51
milbon:iD・スマートサロンの進捗	P52
フィールドパーソン(FP)の人数	P53
為替想定・感応度	P54

連結営業利益 前年同期比増減要因(四半期ベース)

増収による粗利増と売上総利益率の改善が、販管費増を吸収。大幅な増益となった



連結営業利益 対計画増減要因(四半期ベース)

増収による粗利増に加え、販促関係費用と研究開発費の期ずれにより、計画を上回る着地となった

(百万円)



主要ブランド別の状況 ヘアケア用剤

ヘアケア用剤 - オージュアの状況

日本・韓国共に導入美容室数の増加が継続

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	3,185	5,591	3,315	5,771
国内	3,066	5,369	3,180	5,505
韓国	119	222	134	265

(単位:軒)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
導入美容室		8,217		8,724
国内		7,842		8,325
韓国		375		399

オージュア 新製品の状況

オージュア ヘアケアシリーズ ミラジェリィ(4月11日発売)



(単位:百万円)	FY2026	
	実績	計画
販売高	297	840

ヘアケア用剤 - グローバルミルボンの状況

米国を中心とした海外がブランドの成長をけん引

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	1,989	3,668	2,171	4,352
国内	858	1,594	851	1,636
米国	602	1,052	746	1,508
EU	96	182	135	268
中国	163	313	180	386
韓国	71	144	67	144
その他	198	382	189	407

(単位:軒)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
導入美容室		31,755		35,918
国内		12,382		14,117
米国		14,326		16,854
EU		467		469
中国		1,260		1,311
韓国		1,432		1,498
その他		1,888		1,669

※ブランド別販売高は出荷額ベースによる数値。導入美容室数は過去1年間の出荷実績から算出

主要ブランド別の状況 染毛剤

染毛剤 – オルディーブアディクシーの状況

国内のファッションカラー市場の振るわず、競争激化は継続。アディクシーを用いた美容室予約サイトでの美容室集客サポートを行い、消費者認知度を高める施策を継続

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	1,681	3,050	1,614	2,923
国内	1,404	2,506	1,275	2,283
海外	276	543	339	639

染毛剤 – プレトワ 新製品の状況

ファッションカラー 新ブランド プレトワ(9/10発売予定)



(単位:百万円)	FY2026	FY2026 計画
販売高	—	<u>700</u>

染毛剤 – ヴィラロドラカラーの状況

製品力の高さが評価され、導入美容室数が順調に増加。海外では、韓国が成長をけん引している

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	356	679	414	822
国内	316	614	373	739
海外	40	65	41	82

(単位:軒)	FY2025	FY2026
導入美容室	15,295	16,642
国内	13,700	15,059
海外	1,595	1,583

染毛剤 – ソフィーストーンの状況

米国・欧州における代理店・美容室向けの営業・教育活動の強化により増収

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	78	137	92	188

※ブランド別販売高は出荷額ベースによる数値。導入美容室数は過去1年間の出荷実績から算出

© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

主要ブランド別の状況 化粧品

化粧品 – インプレアの状況

主力商材のローションは底堅い動き

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	122	252	117	230
(単位:軒)	FY2025		FY2026	
	2,505		2,954	

インプレア新製品の状況

インプレア クリスタルチューナー(2月10日発売)



(単位:百万円)	FY2026	FY2026 計画
販売高	32	100

化粧品 – アイエムの状況

新商品を投入しているが、販売は計画を下回っている

(単位:百万円)	FY2025		FY2026	
	Q2	累計	Q2	累計
販売高	54	90	17	76

アイエム新製品の状況

アイエム ジェリーオンリップシリーズ(2月5日発売)



(単位:百万円)	FY2026	FY2026 計画
販売高	33	100

※ ブランド別販売高は出荷額ベースによる数値。導入美容室数は過去1年間の出荷実績から算出

国内・海外の売上高・営業利益の実績と計画

		FY2025（実績）				FY2026（実績）		FY2026 期初計画	FY2026 修正計画
（単位：百万円）		Q1累計	Q2累計	Q3累計	Q4累計	Q1累計	Q2累計	Q4累計	Q4累計
日本	売上高	8,165	18,483	27,819	39,206	8,462	18,993	39,880	40,050
	営業利益	566	1,640	2,645	4,757	660	2,161	5,090	4,850
	利益率(%)	6.9%	8.9%	9.5%	12.1%	7.8%	11.4%	12.8%	12.1%
海外	売上高	3,014	6,323	10,007	13,657	3,952	7,884	14,920	15,550
	営業利益	145	297	844	895	589	1,185	1,210	1,700
	利益率(%)	4.8%	4.7%	8.4%	6.6%	14.9%	15.0%	8.1%	10.9%
韓国	売上高	1,189	2,577	4,126	5,503	1,428	2,975	5,802	5,900
	営業利益※1	404	894	1,444	1,677	518	1,108	1,822	1,870
	利益率(%)	34.0%	34.7%	35.0%	30.5%	36.3%	37.2%	31.4%	31.7%
中国	売上高	637	1,193	1,819	2,441	793	1,515	2,623	2,820
	営業利益	67	117	141	125	119	209	144	280
	利益率(%)	10.7%	9.8%	7.8%	5.1%	15.0%	13.8%	5.5%	9.9%
米国	売上高	495	1,150	1,863	2,520	856	1,668	2,850	3,250
	営業利益	△20	△141	46	89	174	274	37	360
	利益率(%)	△4.2%	△12.3%	2.5%	3.5%	20.3%	16.4%	1.3%	11.1%
EU	売上高	110	240	377	537	175	383	666	730
	営業利益	△46	△67	△99	△134	△31	△33	△92	△80
	利益率(%)	△41.5%	△27.9%	△26.4%	△25.0%	△18.2%	△8.8%	△14.0%	△11.0%
その他※2	売上高	581	1,161	1,820	2,653	697	1,341	2,979	2,850
	営業利益	52	107	214	351	129	249	487	458
	利益率(%)	9.0%	9.2%	11.8%	13.3%	18.6%	18.6%	16.3%	16.1%
（配賦コスト）		△312	△612	△903	△1,214	△318	△621	△1,188	△1,188

※1 今期より、海外の国別営業利益は「全社共通配賦前」の利益を記載（全社配賦コストは最下段に記載）

※2 台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、トルコ、UAE

連結カテゴリー別売上高・構成比

(単位:百万円)	FY2025					FY2026					FY2026
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	修正計画
売上高	11,180	13,626	13,020	15,035	52,863	12,415	14,463			26,878	55,600
ヘアケア用剤	6,938	8,685	7,944	9,897	33,466	7,847	9,302			17,150	35,620
染毛剤	3,706	4,275	4,427	4,486	16,896	4,010	4,527			8,538	17,630
パーマ用剤	287	422	341	384	1,435	321	424			745	1,450
化粧品	159	168	181	154	664	165	131			296	500
その他	89	74	124	113	401	70	78			149	400
構成比(%)											
ヘアケア用剤	62.1%	63.7%	61.0%	65.8%	63.3%	63.2%	64.3%			63.8%	64.1%
染毛剤	33.1%	31.4%	34.0%	29.8%	31.9%	32.3%	31.3%			31.8%	31.7%
パーマ用剤	2.6%	3.1%	2.6%	2.6%	2.7%	2.6%	2.9%			2.8%	2.6%
化粧品	1.4%	1.2%	1.4%	1.0%	1.3%	1.3%	0.9%			1.1%	0.9%
その他	0.8%	0.6%	1.0%	0.8%	0.8%	0.6%	0.5%			0.6%	0.7%

国内カテゴリ別売上高増減率・構成比

日本

	FY2025				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	△2.5%	+3.2%	+0.1%	+3.6%	+1.3%
ヘアケア用剤	+6.6%	+6.8%	+2.1%	+6.5%	+5.6%
染毛剤	△7.9%	△1.8%	△2.1%	△4.2%	△3.9%
パーマ用剤	△23.3%	△9.6%	△18.8%	△3.5%	△13.0%
化粧品	△57.5%	△15.2%	+20.9%	+2.5%	△24.0%
その他	△32.7%	△27.6%	△14.3%	△15.5%	△21.5%
構成比					
ヘアケア用剤	66.2%	67.0%	65.3%	69.6%	67.2%
染毛剤	30.0%	28.4%	30.7%	26.9%	28.8%
パーマ用剤	1.7%	2.7%	1.9%	1.8%	2.1%
化粧品	1.8%	1.5%	1.8%	1.3%	1.5%
その他	0.2%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%

FY2026				
Q1	Q2	Q3	Q4	累計
+3.6%	+2.1%			+2.8%
+5.5%	+3.5%			+4.4%
△0.5%	△0.0%			△0.2%
+4.4%	△4.4%			△1.5%
+3.8%	△22.0%			△9.5%
△7.7%	93.3%			+27.2%
67.7%	68.7%			68.2%
28.1%	27.1%			27.6%
1.7%	2.5%			2.2%
2.0%	1.3%			1.6%
0.5%	0.4%			0.4%

※日本のカテゴリ別売上高増減率・構成比は出荷額ベースによる数値

海外カテゴリ別売上高増減率・構成比

韓国

	FY2025				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	+0.8%	+10.0%	+19.5%	+2.5%	+8.3%
ヘアケア用剤	+5.0%	+14.2%	+18.0%	+3.0%	+10.1%
染毛剤	△2.9%	+6.2%	+16.9%	+2.3%	+5.7%
パーマ用剤	+10.2%	+10.2%	+29.3%	+4.9%	+13.7%
構成比					
ヘアケア用剤	24.3%	23.8%	23.5%	23.3%	23.7%
染毛剤	68.5%	68.9%	68.7%	70.8%	69.2%
パーマ用剤	5.5%	4.9%	5.4%	5.2%	5.2%
その他	1.7%	2.4%	2.4%	0.7%	1.9%

FY2026				
Q1	Q2	Q3	Q4	累計
+16.8%	+8.0%			+12.1%
+22.7%	+15.7%			+18.9%
+16.6%	+8.2%			+12.0%
+17.0%	+9.6%			+13.2%
25.5%	25.5%			25.5%
68.4%	69.0%			68.7%
5.5%	4.9%			5.2%
0.6%	0.5%			0.6%

中国

	FY2025				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	△3.9%	+13.2%	+8.7%	+10.9%	+6.6%
ヘアケア用剤	△0.6%	+10.8%	+4.6%	+13.8%	+6.9%
染毛剤	△7.0%	+18.1%	+15.2%	+12.2%	+8.2%
パーマ用剤	△14.7%	+9.7%	+10.8%	△19.6%	△6.0%
構成比					
ヘアケア用剤	57.8%	60.7%	56.2%	64.4%	59.7%
染毛剤	36.3%	34.5%	38.4%	30.4%	35.0%
パーマ用剤	5.9%	4.8%	5.4%	5.2%	5.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

FY2026				
Q1	Q2	Q3	Q4	累計
+15.7%	+9.6%			+12.8%
+13.2%	+12.3%			+12.7%
+19.5%	+6.6%			+13.5%
+16.7%	△2.1%			+8.7%
56.5%	62.2%			59.2%
37.5%	33.5%			35.6%
6.0%	4.3%			5.2%
0.0%	0.0%			0.0%

※ 海外のカテゴリ別売上高増減率・構成比は現地通貨ベースによる数値

海外カテゴリ別売上高増減率・構成比

米国

	FY2025					FY2026				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	+18.4%	+40.7%	+39.4%	+17.9%	+29.4%	+67.1%	+11.4%			+34.8%
ヘアケア用剤	+22.9%	+41.2%	+39.0%	+18.1%	+30.4%	+68.7%	+13.7%			+36.9%
染毛剤	△7.2%	+37.3%	+63.3%	+22.3%	+27.3%	+69.2%	+0.5%			+28.6%
パーマ用剤	△17.7%	+5.0%	+18.0%	△14.5%	△2.5%	+41.6%	△15.9%			+5.0%
構成比										
ヘアケア用剤	86.8%	86.1%	87.5%	86.6%	86.8%	87.6%	87.9%			87.8%
染毛剤	8.3%	8.7%	8.4%	9.3%	8.7%	8.4%	7.8%			8.1%
パーマ用剤	2.2%	2.8%	2.3%	2.5%	2.4%	1.9%	2.1%			2.0%
その他	2.7%	2.4%	1.8%	1.6%	2.1%	2.1%	2.2%			2.2%

EU

	FY2025					FY2026				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	+94.5%	+82.6%	+58.8%	+24.5%	+58.0%	+37.8%	+41.6%			+39.8%
ヘアケア用剤	+90.7%	+72.2%	+52.5%	+29.9%	+55.8%	+40.7%	+42.9%			+41.8%
染毛剤	+144.7%	+145.1%	+104.5%	+6.4%	+77.0%	+34.7%	+44.9%			+40.2%
パーマ用剤	△0.4%	+36.9%	+6.8%	+18.3%	+14.7%	+12.4%	+9.4%			+10.7%
構成比										
ヘアケア用剤	76.2%	75.3%	75.2%	78.8%	76.5%	77.8%	76.0%			76.8%
染毛剤	19.3%	19.7%	20.3%	17.2%	19.1%	18.9%	20.1%			19.6%
パーマ用剤	3.4%	3.8%	3.7%	3.3%	3.5%	2.7%	3.0%			2.9%
その他	1.1%	1.2%	0.8%	0.7%	0.9%	0.6%	0.9%			0.7%

※ 海外のカテゴリ別売上高増減率・構成比は現地通貨ベースによる数値

設備投資等の状況

(単位:百万円)		FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 Q2累計	FY2026 計画
設備投資額		4,097	3,151	2,865	2,701	1,151	1,950
減価償却費		2,026	2,213	2,288	2,317	1,192	2,410
研究開発費	金額	2,074	2,334	2,452	2,672	1,283	2,884
	売上比(%)	4.6	4.9	4.8	5.1	4.8	5.3

FY2026 設備投資の主な項目

営業・スタジオ拠点

- ・ 人材開発センター

デジタル

- ・ milbon:iD関連
- ・ Smart Salon関連(デジタルマーケティング)

生産体制

- ・ ゆめが丘工場
(機械装置循環投資)
- ・ タイ工場機械設備

その他

- ・ エデュケーションiD関連
- ・ システムインフラ関連
- ・ 製造設備関連

milbon:iD・スマートサロンの進捗

milbon:iDの進捗

サロン数は、カウント基準変更に伴い閉店済み店舗の除外の影響もあり、伸びは鈍化しているが、登録者数は順調に増加。2025年6月からアクティブ率向上に向けてLINE連携を開始

	FY24 累計	FY25 累計	FY26 Q2累計	FY26 計画
登録者数	88.1万人	104万人	111.5万人	115万人
サロン数(参考)	6,566軒	6,669軒	6,855軒	—
EC売上※1	19.7億円	22.5億円	9.3億円	25億円

スマートサロンの進捗

	FY24 累計	FY25 累計	FY26 Q2累計
サロン数	62軒	83軒	90軒

※ 日本国内の実績

※1 EC売上は出荷額ベースによる数値

© Milbon Co., Ltd. All rights reserved.

フィールドパーソン(FP)の人数

国別 フィールドパーソン的人数

上段：FP期中平均人数(名)

下段：フィールドパーソン一人当たり売上高(百万円)

	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
日本	350.2	361.4	364.8	367.0
	104	107	107	—
韓国	33.4	33.2	33.6	35.0
	141	160	163	—
中国	34.3	33.8	32.2	27.0
	65	68	75	—
米国	13.2	15.8	18.2	17.0
	123	125	138	—
EU	3.8	6.2	9.0	10.0
	—	—	—	—
その他※	34.4	36.8	37.0	39.0
	70	69	68	—

※台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、トルコ

日本 フィールドパーソンの採用・研修状況

2026年6月30現在

2025年 10月入社 12名 現場OJT中

2026年4月 1日現在

2026年 4月入社 30名 研修中

(上記30名は左の表には含まれておりません。)

為替想定・感応度

(百万円)

	FY2026想定	連結売上高への影響			連結営業利益への影響			Q2実績
KRW	0.105円	+1%	→	+55	+1%	→	+39	0.1069円
RMB	21.5円	+1%	→	+24	+1%	→	+5	23.03円
USD	150.0円	+1%	→	+25	+1%	→	+8	158.59円
EUR	180.0円	+1%	→	+5	+1%	→	+0	184.83円
THB	4.8円	+1%	→	+3	+1%	→	△28	4.90円

タイに生産工場があるため、タイバーツに対する円安は営業利益に対してマイナス

※影響額は25年実績ベースで算出

ディスクレイマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。